

録音設定／データ管理

Gracenote データベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)に
つきましては弊社ホームページから提供しております。(注)

(注)操作方法につきましては、

VXM-135VFNi の場合

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-135vfni/>

VXM-135VFN の場合

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-135vfn/>

をご参照してください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音設定／データ管理について	I-2
再生可能メディアについて	I-3
CD の録音方法(自動／手動)を選択する	I-4
CD を録音する	I-6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する	I-6
Music Rack の機能／構成について	I-8
Music Rack へ録音時の注意点について	I-9
Music Rack の使用容量を確認する	I-10
音楽データを修復する	I-11
音楽データを初期化する	I-12
ローカル／カスタムアップデートについて	I-13
タイトル情報更新の流れについて	I-13
ローカルアップデート／ カスタムアップデートをする	I-15
Gracenote データベースのデータを 初期化する	I-20

本章では、録音、データベースのアップデートなどデータ管理に関わる内容を説明しています。

- 音楽CDを本機(のMusic Rack)へ手動録音するための設定

▶ P-4

- Music Rackの機能について

▶ P-8

※ Music Rackの構成や音楽CDを本機(のMusic Rack)に録音(保存)するときの注意事項を記載しています。

※ 音楽CDのデータベースを内蔵しており、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などが自動的に付加され、整理をすることができます。

※ GracenoteデータベースとMCDBデータベースを使用しています。

- Gracenoteデータベースのアップデート方法

▶ P-15









アドバース

- Music Rackの機能の特徴は下記ようになります。

できること	音楽CDの録音・再生
本機以外に必要なもの (別にご購入頂くなどご準備頂くもの)	音楽CD
その他機能	アルバム名、アーティスト名などを自動的に付加するので、 入力の手間を省けます。 新曲が出て、アルバム名、アーティスト名などのデータ ベースを更新できます。
データ保存場所	Music Rack

本機で再生可能なファイル形式とメディアにつきましては以下を参照ください。

	ファイル形式	拡張子	CD-R／RW 	DVD-R／RW DVD+R／RW 	USBフラッシュメモリ* 	SDカード 
<div>音楽</div> <div></div>	MP3	.mp3	○	○	○	○
	WMA	.wma	○	○	○	○
	AAC	.m4a	×	×	○	○
<div>画像</div> <div></div>	JPEG	.jpg	×	×	○	○

録音設定
データ管理

- ※ファイル形式や拡張子が対応の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合があります。
- ※MP3／WMAファイルにつきましては「●音楽ファイルMP3/WMAの規格について」K-3を参照ください。
- ※AACファイルにつきましては「●AACの規格について」O-4／「●音楽ファイルの再生について」O-5を参照ください。
- ※JPEGファイルにつきましては「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照ください。

* 印…ウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」M-4を参照ください。

I-4 CDの録音方法(自動／手動)を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲を本機(Music Rack)へ録音することができます。録音には自動録音と手動録音があります。

※本機の初期の録音方法は“自動録音”に設定されています。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。

2 **AUDIO設定** → **録音** をタッチする。

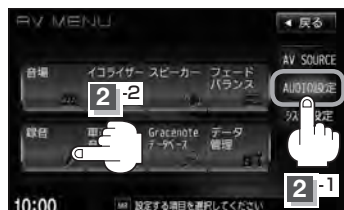
：録音設定画面が表示されます。



アドバイス

AV MENU画面につきましては「**H-10**」を参照ください。

AV MENU画面(例)



3 録音方法(**自動録音** ／ **手動録音**)を選択する。

■ **自動録音** をタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。

「**未録音CDについて**」I-5

■ **手動録音** をタッチした場合

：CDモード画面で**録音**をタッチし録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して**録音開始**をタッチすると録音を開始します。

「**録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する**」I-6

録音設定画面



設定画面では音質の選択や録音可能時間、本機の残容量を確認できます。

「**録音音質選択I-7**」



アドバイス

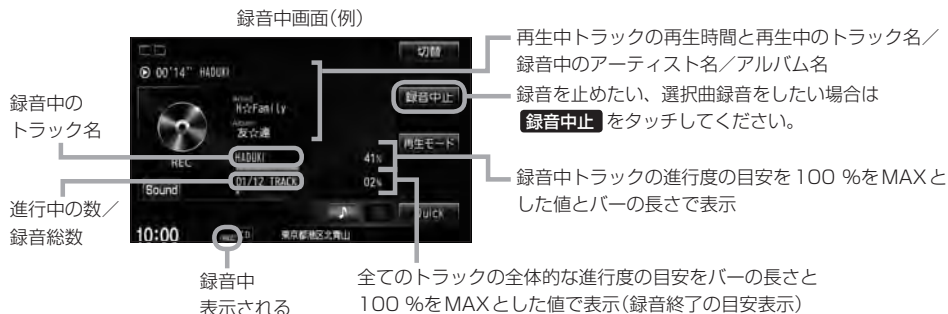
- すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**録音**をタッチして録音を開始させてください。

「**I-6**」

- 録音を開始する前に「**Music Rackへ録音時の注意点について**」I-9を必ずお読みください。

未録音CDについて

録音方法が自動録音に設定されている場合、未録音の音楽CDを挿入すると、同時に録音を開始します。

録音設定
データ管理

※自動録音と手動録音の設定のしかたは「CDの録音方法(自動／手動)を選択する」I-4を参照してください。手動録音の場合、録音音質の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。

「CDを録音する」I-6



アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

「アルバムリストの編集(曲管理)」L-14

※ Music Rackにつきましては「Music Rackの機能／構成について」I-8／「各部の名称とはたらき」L-2を参照ください。

※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF→ONにした場合は再度録音が始まります。(自動録音設定時)

- 自動録音／手動録音は変更することができます。I-4

- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。

「CDを録音する」I-6

4


設定を終えるには、**戻る** をタッチする。

：設定が確定(決定)されます。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** をタッチすると選択中モード画面に戻ります。

録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する

全曲録音するか、お好みの曲を録音するかの設定と、音質の設定することができます。

※未録音 CD を挿入した場合は録音が始まります。(自動録音設定時)  K-10

1 CDモード時、**●録音** をタッチする。

：録音開始画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



2 録音方法を選択する。

■ 全曲録音する場合

① **全曲録音** をタッチする。

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本機の容量が足りない場合 **全曲録音** は選択できません。すでに1曲でも録音済みのディスクの場合は、未録音の曲を全て録音します。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

録音開始画面



■ 選択曲録音をする場合

① **選択曲録音** をタッチする。

：録音曲選択画面が表示されます。

② 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

☐：このトラックは録音しません。

※すでに録音済みのトラックは選択できません。

(✓表示有／トラックは灰色表示)

③ **決定** をタッチする。

録音曲選択画面



：録音したいトラックが確定(決定)され、録音開始画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音開始画面に戻ります。



アドバイス

●本機に録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。

●タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。

※xxにはトラック番号の数字が入ります。

3 録音音質を選択する。

■ 高音質で録音する場合

① 高音質モード をタッチする。

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

■ 標準で録音する場合

① 標準モード をタッチする。

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。



録音設定
データ管理

4 録音開始 をタッチする。

：アーティスト名／トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(図1-6)で選択した曲の1曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。



本機への録音可能時間が確認できます。



アドバンス

- 録音中に **録音中止** をタッチすると録音を中止できます。
※録音を中止してもすでに本機に録音したトラックは本機に保存されます。
- 全曲の録音が完了すると、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。
現在地 をタッチ：ナビゲーション画面を表示します。
AUDIO をタッチ： **FM** / **AM** / **Music Rack** / **USB** / **iPod** / **SD** / **Digital TV** / **VTR** をタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- 本機への録音可能時間の情報を知ることができます。
[] 「Music Rackの使用容量を確認する」I-10
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと、設定は解除されます。

録画中画面(例)



録音を止めたい場合は **録音中止** をタッチしてください。

本機には主に下記に示すようなMusic Rack機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenote データベース約 30 万タイトル収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどの選曲モード(「**CD**」L-7)の各ボタンに自動でふり分け
 - ※ミュージックエスコートはMCDB データベースを使い、曲調を自動的に判別してふりわけの機能です。
 - ※収録された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB 検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- 設定により自動録音／手動録音の選択が可能



アドバンス

- 選曲モードの各モードへのふり分けは収録しているデータベースに合致した場合には行なわれ、自動ふり分けがされない場合もあります。

- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

録音可能曲数*	約 3,000 曲
最大容量	12 GB

* 印・・・録音音質は高音質モードで 1 曲を 4 分で換算した場合

(録音音質を標準モードで 1 曲 4 分で換算した場合は約 3500 曲となります。)

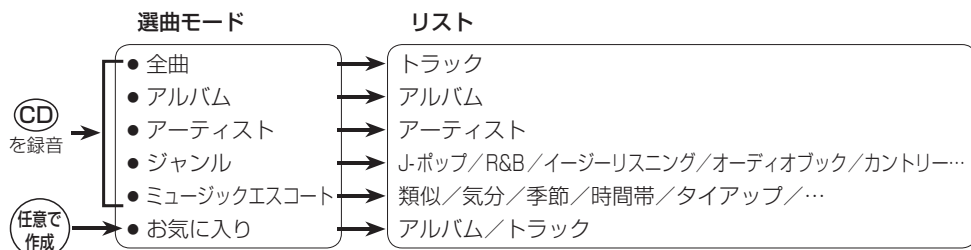
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack には 4 つのアルバムと 4 つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1 つのアルバムフォルダに 200 アルバム、1 つのトラックフォルダに 200 曲の登録が可能です。
- Gracenote データベースにつきましては「**CD**」データベースについて」T-14、「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」I-15 を参照ください。

Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB 検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
 - 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。
- 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMA ファイル、DVD、ラジオ、テレビ、SD カード、USB 機器などから録音することはできません。
 - 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
 - 車のエンジンスイッチをO(ロック)または、オーディオをOFF 状態にしても前回設定した自動／手動の選択(☞I-4)、録音音質(☞I-7)は保持されます。
 - 車のエンジンスイッチを「I (アクセサリ)」の状態で録音しているときに、「Ⅲ(始動)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
 - ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
 - 録音の開始時や、終了時には、約2 秒間音楽や音声が停止することがあります。
・録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3 秒間表示されます。
 - 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF 状態にしても録音は継続されます。
 - 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
 - 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済または1 曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選択して録音を開始させてください。
- ☞「**録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する**」I-6
- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3 秒ほど再生してください。
※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
 - Music Rackの録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
 - Music Rackの使用状況を確認するには☞「Music Rackの使用容量を確認する」I-10を参照ください。
 - 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
 - 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
 - 録音が終了したとき、最後に再生していたトラックの再生が終わるまで早送り／早戻し／再生モード(リピート、ランダム、スキャン)の変更はできません。
 - 録音を行なうと、録音前に設定されていた再生モード(リピート、ランダム、スキャン)は解除されます。
 - 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
・録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合 ・録音中にCDを取り出した場合
 - 録音中はSD カードを使用できません。SD カードを使用する場合は、一度録音を中止してから操作を行なってください。

Music Rack の使用容量を確認する

本機の Music Rack 内の使用状況を確認することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回タッチします。

2 **AUDIO 設定** → **データ管理** をタッチする。

： データ管理画面が表示されます。



アドバイス

AV MENU 画面につきましては **ア H-10** を参照ください。

AV MENU 画面 (例)



データ管理画面



3 **Music Rack 情報** をタッチする。

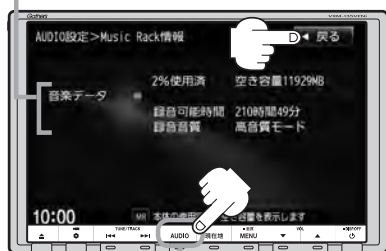
： 本機の Music Rack の使用状況が表示されます。

4 使用状況を確認したら、 **戻る** または **AUDIO** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、
AUDIO をタッチすると現在選択中のモード
の再生画面に戻ります。

音楽データの使用情報

(例)



AUDIO ボタン

本機に録音(REC)した音楽データが見当たらないなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

： AV MENU画面が表示されます。

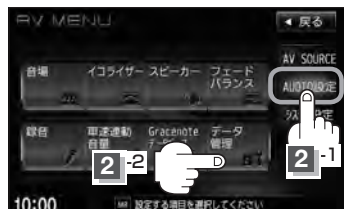
※ DVDモード時は **MENU** を2回タッチします。

録音設定
データ管理

2 **AUDIO設定** → **データ管理** をタッチする。

： データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)



アドバース

AV MENU画面につきましては「**ア** H-10を参照ください。

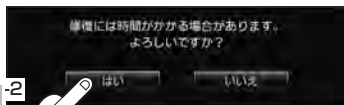
データ管理画面

3 **音楽データ修復** をタッチする。

： 画面に表示されるメッセージを確認し、**はい** をタッチすると修復作業が開始されます。

※ 修復作業は曲数が増加するに従って長くなります。

※ Music Rack / USB / SD機器再生中の場合、
修復作業中再生は停止されます。



4 設定を終えるには、**戻る** または **AUDIO** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

I-12 音楽データを初期化する

本機の Music Rack に録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

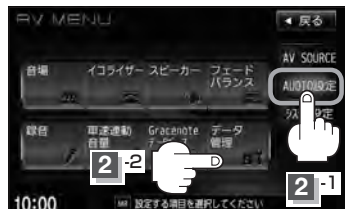
： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回タッチします。

2 **AUDIO 設定** → **データ管理** をタッチする。

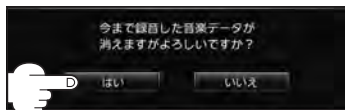
： データ管理画面が表示されます。

AV MENU 画面(例)



AV MENU 画面につきましては **アド H-10** を参照ください。

データ管理画面



4 設定を終えるには、**戻る** または **AUDIO** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**AUDIO** をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95 %のアルバム情報を取得成功できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができるので、入力の手間をはぶくことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

データベースにタイトル情報がない場合は誤ったタイトルを表示する場合があります。

※収録されているGracenoteデータベースは、2011年12月時点のデータです。

また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。

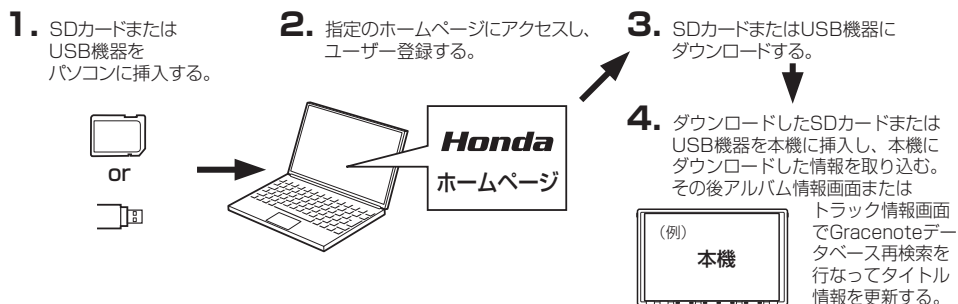
録音設定
データ管理

タイトル情報更新の流れについて

本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)があります。

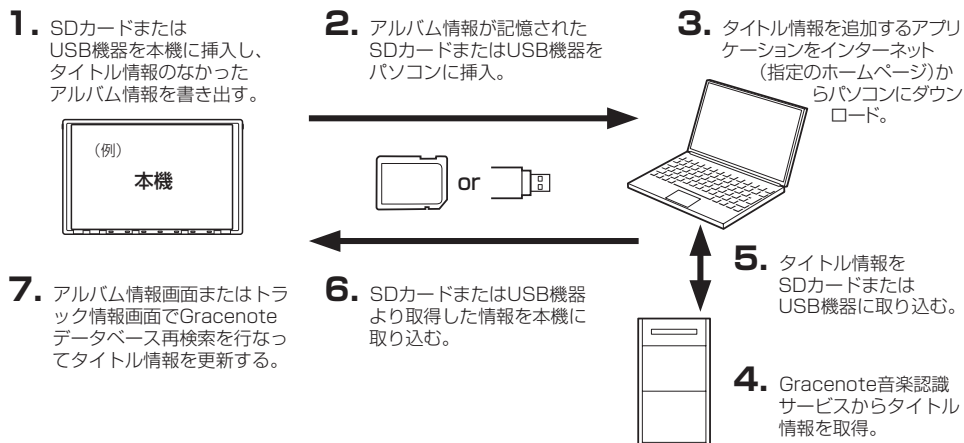
■ ローカルアップデート(定期更新)の場合

Hondaのホームページに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。



■ カスタムアップデート(個別更新)の場合

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報をGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。





アドバンス

- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
- ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USB機器に書き込むことができます。
- カスタムアップデート(間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます)。
- カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上の空き容量、パソコン100MB以上の空き容量、インターネット接続環境(64 kbps以上推奨)、カードリーダーライターなどインストールするにあたり動作環境を整えていただく必要があります。
- Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定ホームページにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。^(注)
ローカルアップデート(定期更新)専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新)専用アプリケーションは指定のホームページから入手できます。

(注)：指定のホームページ

VXM-135VFNiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-135vfn/>

VXM-135VFNの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-135vfn/>

※ユーザー登録やアップデートの操作方法などは上記ホームページよりご確認ください。

MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲家・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

※収録されているMCDBは、2011年12月時点のデータです。

Gracenote データベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回タッチします。

2 **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース** * をタッチする。

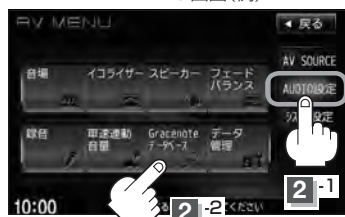
： Gracenote データベース画面が表示されます。

* 印…走行中／録音中は選択できません。



AV MENU 画面につきましては **設定 H-10** を参照ください。

AV MENU 画面(例)



3 アップデートの方法

(**ローカルアップデート(定期更新)** ／ **カスタムアップデート(個別更新)**) を選択する。

※ Music Rack／SD／USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

Gracenote データベース画面



■ **ローカルアップデート(定期更新)** をタッチした場合



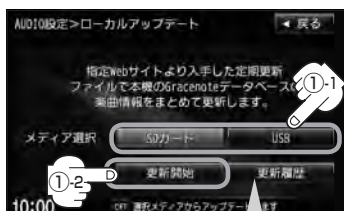
ローカルアップデート(定期更新)する前に…

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする
 2. データベースファイルをパソコンにダウンロードする
 3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角で NVDATA フォルダを作成する
 4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルを NVDATA フォルダに移動させ、SD カードまたは USB 機器に取り込む
 5. SD カードまたは USB 機器を本機に挿入／接続する
- ※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

① メディア(**SDカード** / **USB**)を選択し、**更新開始** をタッチする。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

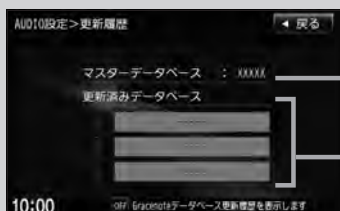


⚠ 注意

更新中は他の操作(モード切替／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器からアップデートしたGracenoteデータベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

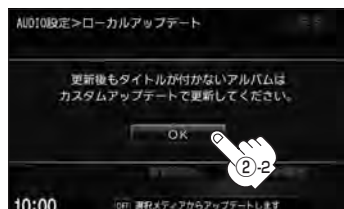
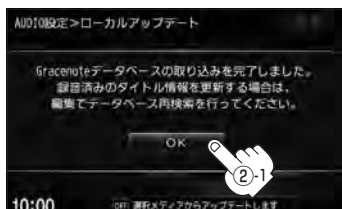


アドバンス

最新のアップデートファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。アップデートを行なった期間のアップデートファイルを全てダウンロードし、アップデートを行なってください。

② 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、

OK を画面に従ってタッチする。



本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

「**バック**」L-14手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** をタッチ、またはL-23手順 **1**、**2** で **トラック編集** をタッチし、L-18、L-25「**データベースから再検索する場合**」参照

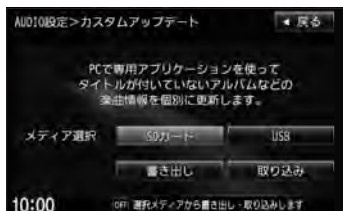
ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ カスタムアップデート(個別更新) をタッチした場合

※SDカード／USB 機器を本機に挿入／接続(準備)しておく必要があります。

☞ 「SDカードを入れる／取り出す」 H-7

☞ 「USB機器を本機に接続する」 M-5



録音設定
データ管理

データの書き出しをする

新規アルバム表示または、間違ったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(No title表示)のとき

※新規タイトルxxと表示されるアルバムは、自動でアルバム情報の保存を行ないます。

1. I-18の手順①へ進んでください。

□ 間違ったタイトルを表示(ミスヒット)しているとき

■ データベースに複数のタイトル情報がある場合

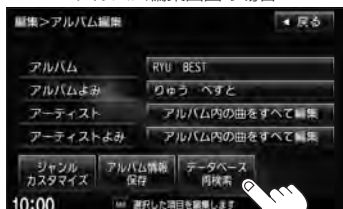
1. Music Rack モードでデータベース再検索をする。

☞ L-14 手順 ① ～ ③ で **アルバム編集** をタッチ
または、L-23 手順 ①、② で

トラック編集 をタッチし、

「■ データベースから再検索する場合」 L-18、L-25 を
参照し **データベース再検索** をタッチする。

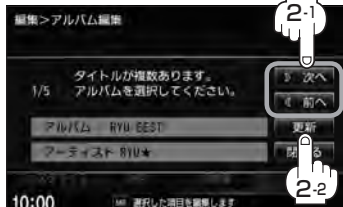
アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を

次へ／**前へ** をタッチして検索し、
希望のアルバム名が見つかった場合は
更新 をタッチする。

：タイトル情報が更新されます。



3. I-19の手順④へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は

☞ 「■ データベースにタイトル情報がない場合」 I-18へ進んでください。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ データベースにタイトル情報がない場合

※ Music Rack 再生中は、
再生を停止する必要があります。

1. Music Rack モードで **編集** → **曲管理** をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

2. 間違った情報のアルバムをタッチし、
アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

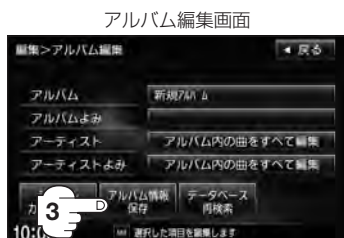
：間違ったアルバム情報を一旦本機に保存します。



曲管理画面

4. I-15の手順 **1**、**2** に従って操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)**
をタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。



アルバム編集画面

① **SDカード**／**USB** → **書き出し** をタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB 機器にタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

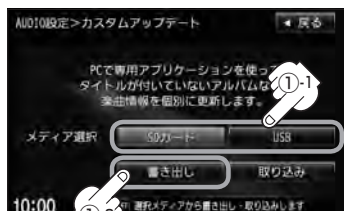
② 書き出し完了を知らせるメッセージが表示されるので、内容を確認し、**OK** をタッチする。

③ 本機よりSDカード／USB機器を取り、パソコンに挿入／接続する。

④ パソコンからGracenote 音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤ 取得した情報をSDカード／USB機器に取り込む。

⑥ SDカード／USB機器をパソコンより外し、本機に挿入／接続する。



データの取り込みをする

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑦へ進んでください。

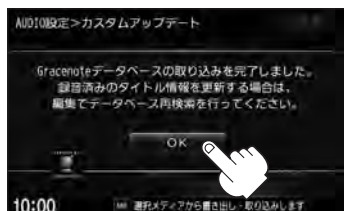
表示していない場合はI-15の手順 **1**、**2** に従って操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

⑦ **SDカード**／**USB** → **取り込み** をタッチする。



：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB機器より取得した情報を本機に取り込みます。

⑧ 取り込み完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、
OK をタッチする。

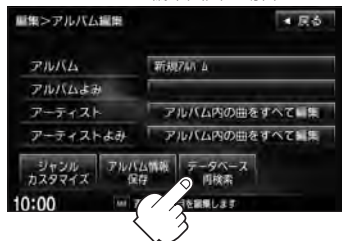


本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ L-14 手順 **1** ～ **3** で **アルバム編集** をタッチまたは、
L-23 手順 **1**、**2** で **トラック編集** をタッチし、
L-18、L-25 の「**データベースから再検索する場合**」参照

アルバム編集画面の場合



アドバンス

☞ 「**タイトル情報更新の流れについて**」I-13 もご参照ください。

4

設定を終えるには、**戻る** または **AUDIO** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenote データベースのデータを初期化する

Gracenote データベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回タッチします。

2 **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース *** をタッチする。

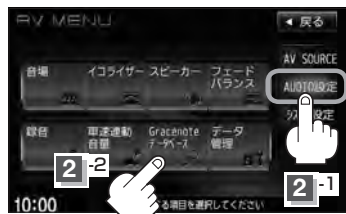
： Gracenote データベース画面が表示されます。

* 印…走行中／録音中は選択できません。



AV MENU 画面につきましては **ア H-10** を参照ください。

AV MENU 画面 (例)



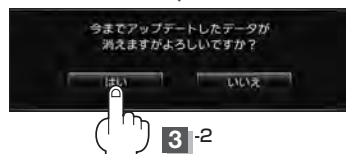
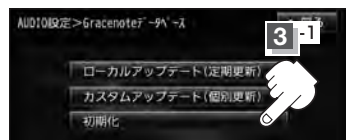
3 **初期化** をタッチする。

※ Music Rack / SD / USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** を画面に従ってタッチするとデータを消去し、Gracenote データベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

Gracenote データベース画面



4 設定を終えるには、**戻る** または **AUDIO** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**AUDIO** をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作 (モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更) をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で “はい” を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ (ローカルアップデート (定期更新) / カスタムアップデート (個別更新)) は消去され、二度と復帰しません。

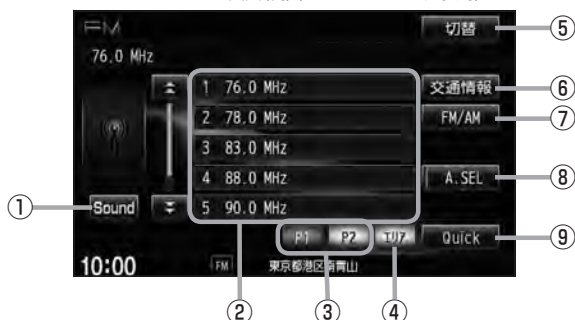
J

FM / AM を聞く

各部の名称とはたらき	J-2
表示部について	J-3
FM / AM 放送を切り替える	J-4
選局する	J-4
プリセット(メモリー)する	J-8
交通情報を受信する	J-10
道路交通情報を聞く	J-10
道路交通情報の受信を止める	J-11

各部の名称とはたらき

FMモード TOP画面(例) (P1 / P2 ボタン選択時)



FMモード TOP画面(例) (エリアボタン選択時)

① **Sound** ボタン

イコライザー画面を表示します。[P] H-27

② **プリセット** ボタン(1～6)

1.5 秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
[P] J-8(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

③ **P1 / P2** ボタン

ユーザープリセットした放送局を表示します。
[P] J-5

④ **エリア** ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を
エリア表示 (1～12)に表示します。[P] J-6

⑤ **切替** ボタン

時計のみ表示させてラジオを聞くことができます。
[P] H-18

⑥ **交通情報** ボタン

道路交通情報を受信します。[P] J-10

⑦ **FM / AM** ボタン

FM / AM 放送を切り替えます。[P] J-4

⑧ **A.SEL** ボタン

1 秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯) [P] J-7
※セレクトされた放送局はボタンに表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザープリセット / エリア画面の切り替えとなります。[P] J-5

⑨ **Quick** ボタン

Quick 機能を使用することができます。
[P] B-19

⑩ **エリア更新** ボタン

エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。[P] J-6

⑪ **エリア表示** ボタン(1～12)

エリア タッチでエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。[P] J-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[P]「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。



放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

表示部について



FM
/
AM

① FM / AM表示

選択中のバンド(FM放送 / AM放送)を表示します。

☞ J-4

② 周波数表示

③ 放送局名表示

④ 音場表示

選択中の音場を表示します。

☞ H-24

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQマークが表示されます。

☞ H-27

⑤ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

☞ J-4

1

FM / AM をタッチする。

: タッチするたびにAM放送↔FM放送を切り替えます。

FM ↔ AM が
切り替わる

FM放送の場合(例)



選局する

手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア／オートセレクト選局があります。

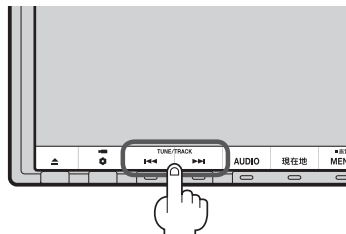
1

選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

①  /  (選局) をタッチする。

: ボタンをタッチするたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHz ずつ変わります。





1  /  ボタン
(選局)

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①  /  (選局) を 1 秒以上タッチする。

: 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に  /  (選局) をタッチすると、自動選局は止まります。



アトハイス

- 自動選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「**プリセット**(メモリー)する」J-8

① **P1** または **P2** をタッチする。

：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット** (1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

FMモード TOP画面(例)



FM
AM



アドバンス

FM／AMモード TOP画面は選択する **P1** / **P2**、**A.SEL**、**エリア** によってプリセット表示またはエリア表示となります。

FMモード TOP画面(例)

ユーザープリセット画面(**P1** / **P2** 選択時)



エリア
タッチすると
P1 / **P2**
タッチすると

FMモード TOP画面(例)

エリア表示画面(**エリア** 選択時)



A.SEL
タッチして表示灯を
点灯すると

FMモード TOP画面(例)

オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)



A.SEL
タッチして表示灯を
消灯すると

A.SEL
タッチして表示灯を
消灯すると

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** をタッチする。



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12) に表示されます。

② **エリア表示** (1～12) の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリア表示 ボタン
(1～12)
※地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。



：選択したラジオ放送を受信します。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** / **P2** / **A.SEL**)によってエリア表示またはプリセット表示となります。【 J-5 アドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を **プリセット** (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

「**プリセット**」■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」 J-9

① **A.SEL** をタッチする。

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(*)



：オートセレクトでメモリーした
放送局を **プリセット** に表示します。

② **プリセット** (1～12)の中で 聞きたい放送局をタッチする。



プリセット ボタン
※セレクトできた局の
数によってボタンの
数も変わります。

：選択したラジオ
放送を受信します。

オートセレクト機能が働
いているとき表示灯点灯

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻るとき

① **A.SEL** をタッチする。

オートセレクト画面



：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア
画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト↔
ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。



アドバイス

● **A.SEL** を1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。〔**プリセット**〕 J-9

● 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。

* 印…FMモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** または **P2**、 **A.SEL**)によって異なります。〔**プリセット**〕 J-5 アドバイス参照

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

1

プリセットを選ぶ。

「FM / AM放送を切り替える」 J-4、

「■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」 J-5

: ユーザープリセット 1 またはユーザープリセット 2 画面が表示されます。

2

プリセットする方法を選択する。

(ユーザープリセット / オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1 ~ 6) にメモリーします。

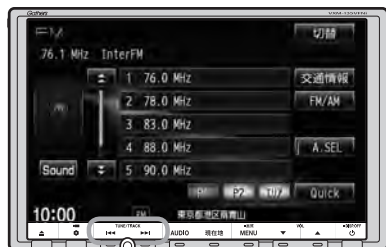
- ① **◀▶** (選局) をタッチして、
メモリーしたい局を選ぶ。

「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合」 /

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」

J-4

ユーザープリセット画面(例)



◀▶ ボタン(選局)

- ② **プリセット** (1 ~ 6) のうち、メモリーしたいボタンを 1 秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1 ~ 6)



アドバイス

- ユーザープリセットには、FM・AMの各モードで6局ずつ、**P1** / **P2** に計24局メモリーすることができます。
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1 ~ 6) を軽く(1 秒未満)タッチします。

「■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」 J-5

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で **プリセット** にメモリーします。

- ① **A.SEL** を1 秒以上タッチする。

ユーザープリセット画面(例)



： **A.SEL** の表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。

ユーザープリセット画面(例)




プリセット ボタン

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



アドバイス

- オートセレクトには、FM・AMの各モードで12局ずつ、計24局メモリーすることができます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** を軽く(1 秒未満)タッチします。
「 ■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」 J-7
- 1 局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、 **A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1

交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の
道路交通情報を受信します。



アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面からも表示させることができます。

1. **AUDIO** をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

2. **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示されます。



AUDIO ボタン

FMモードTOP画面(例)



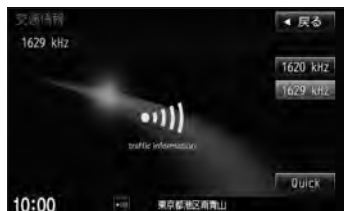
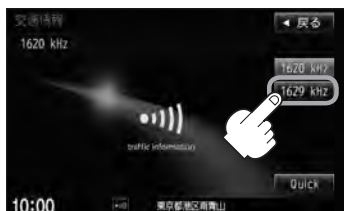
交通情報画面(例)



※初期状態は1620 kHzに設定されています。

■ 周波数の設定を変える場合

① **1629kHz** をタッチする。



：1629 kHzの交通情報を受信します。

※ 1620 kHzに戻りたい場合は

1620kHz をタッチしてください。

道路交通情報の受信を止める

■ **戻る** をタッチした場合

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

■ **電源** をタッチした場合

：画面に“OFF”と表示されAV電源が切れます。



アドバイス

次回 **交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

K

CD / MP3 / WMA を聞く

WMA
MP3
CD

MP3 / WMA ファイルについて	K-2
各部の名称とはたらき	K-8
表示部 (再生画面) について	K-9
未録音 CD を挿入すると	K-10
好きなフォルダを選ぶ	K-10
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	K-11

● MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・ MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応していません。

● トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ(MP3用)やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● CD-R / CD-RWについて

・ CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・ 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once” で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。



アドバンス

● ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

● ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

● 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

● MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル / WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 / WMA ファイル以外に、“MP3” / “WMA”の拡張子を付けしないでください。

MP3 / WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

- MP3 / WMA の音楽ファイルは MP3 / WMA / SD / USB モードで再生することができます。
(下記☆印参照)
- 音楽ファイル MP3/WMA の規格について

使用可能なメディア☆	CD-R、CD-RW DVD ±R、DVD ±RW	SDカード、 SDHCカード	USB フラッシュメモリ
再生モード☆	MP3/WMA モード	SD モード	USB モード
再生可能なMP3/ WMAファイルの規格	・ MP3・・・MPEG Audio Layer 3 ・ WMA・・・Windows Media Audio ※ m3u / MP3i フォーマット/ MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには 対応していません。 ※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessには対応していません。 ※ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。		
再生可能なMP3/WMA ファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma (大文字、小文字どちらでも使用可能)		
使用できるメディア フォーマット	拡張フォーマットを除いた ISO9660レベル1およびレベル2 ※パケットライトには対応していま せん。	FAT16 / FAT32	
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	全角32 / 半角32文字	全角32 / 半角64文字	
フォルダ名/ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角/半角)、0～9(全角/半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水 準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数:ルートフォルダ含む)		
1メディア内の 最大ファイル数	999	10,000	
最大フォルダ数	255	400	
表示可能なID3タグ/ WMAタグ	トラック名/アーティスト名/ アルバム名	トラック名/アーティスト名/アルバム名/ ジャンル名	
ID3タグ表示可能 文字数	Ver 1.0/1.1 : 全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3 : 全角32/半角64文字		
	※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バーゼ ョン2のタグを優先します。		
WMAタグ表示可能 文字数	全角32/半角32文字	全角32/半角64文字	
ID3タグ/WMAタグ 推奨文字コード	シフトJIS		
ジャケット写真	非対応	対応*	

※ 著作権保護された WMA は再生できません。

* 印・・・MP3 / WMA ファイルのジャケット写真表示につきましては、 0-4 * 印を参照してください。

- 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート(kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※ VBR : 可変ビットレート

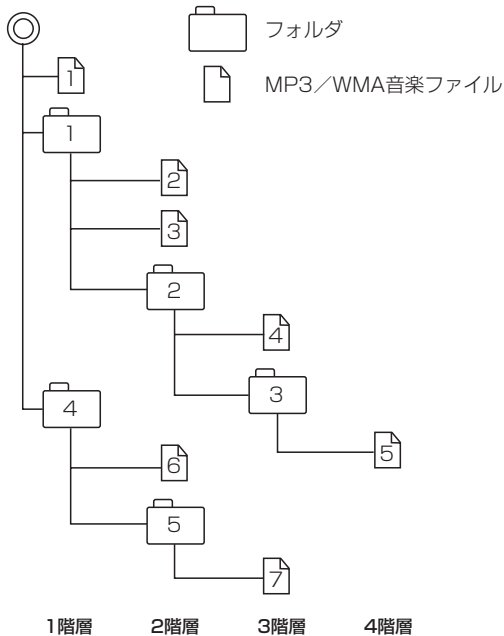
WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※ VBR：可変ビットレート

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいたくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

● 階層と再生順序について



[以下はCDのMP3 / WMAのみ]

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3 / WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、**①→②→③→④→⑤→⑥→⑦**の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMA ファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3 / WMA ファイルの作り方について

MP3 / WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

● インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3 / WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3 / WMA形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録 / データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

● CD-R / CD-RWに書き込む場合

MP3 / WMA ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RW ドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



オーディオ

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3 / WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3 / WMA ファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3 / WMA ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

CDモードTOP画面(詳細表示時(例))



MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン

イコライザー画面を表示します。【P】H-27

② **♪** ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。【P】K-9

③ **≡** ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。【P】K-11

④ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。【P】H-18

⑤ **●録音** ボタン

録音開始画面を表示します。【P】I-6

⑥ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。【P】H-14

⑦ **Quick** ボタン

Quick機能を使用することができます。【P】B-19

⑧ **フォルダ▲** / **フォルダ△** ボタン

前または次のフォルダを選択します。【P】K-10

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、【P】「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。



アドバイス

- 録音(REC)中は画面に**録音中止**が表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について

CDモードTOP画面
詳細表示時(例)MP3モードTOP画面
詳細表示時(例)

① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示(*1)

アーティスト名表示／アルバム名表示／フォルダ名表示(*2)

* 1 印…CDモードの場合

* 2 印…MP3／WMAモードの場合

④ トラック名表示(*3)

⑤ 音場表示

選択中の音場を表示します。[H-24]

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

[EQ] マークが表示されます。

[H-27]

⑥ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましてはH-14を参照ください。

⑦ 再生モード表示

[MP3] …MP3モード／[WMA] …WMAモード

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[H-2]「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。



アドハイス

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(*1)
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

●ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。(*2)
※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。

●タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

●DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。

・DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。

・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのアーティスト名／トラック名／アルバム名／ジャンル名が表示されます。

・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て“No Title”と表示されます。

・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。

・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK 1…”と表示され、タイトル表示されません。

※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

* 3 印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3／WMAの場合)

※ CDモードの場合

本機に1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ全曲の録音を開始します。[?]「(未録音CDについて)」I-5

※録音方法が自動録音に設定されている場合です。



録音を停止したい場合は、**録音中止**をタッチしてください。



- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

[?]「アルバムリストの編集(曲管理)」I-14

- ※ Music Rackにつきましては[?]「Music Rackの機能／構成について」I-8／「各部の名称とはたらき」I-2を参照ください。

※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF→ONにした場合は再度録音が始まります。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。[?]I-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。[?]「CDを録音する」I-6

好きなフォルダを選ぶ

※ MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダ-／**フォルダ+**をタッチする。

- 前のフォルダに戻る場合

フォルダ-をタッチする。

- 次のフォルダに進む場合

フォルダ+をタッチする。



トラックリストより好きなトラックを選ぶ

K-11

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))



WMA
MP3



アドバイス

TOP画面は選択する  /  によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)



詳細表示

 タッチ

 タッチ

CDモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2





再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

-  /  をタッチしてトラックを選択することもできます。  H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、つづきを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。
- CDモード時のトラックリストについて
 - ・ CD-TEXT 情報または Gracenote データベースタイトル情報が表示されます。
 - ・ タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
 - ・ TOP画面を詳細表示に戻したい場合は  をタッチしてください。(上記アドバイス参照)



Music Rackを使う

各部の名称とはたらき	L-2
表示部(再生画面)について	L-3
リスト表示より好きなトラックまたは アルバムを選ぶ	L-4
選曲モードより選ぶ	L-6
アルバムリストの編集(曲管理)	L-14
アルバム編集をする	L-14
再生選択をする	L-19
お気に入り登録をする	L-20
ジャケット写真を登録する	L-21
削除する	L-22
トラックリストの編集(曲管理)	L-23
トラック編集をする	L-23
再生選択をする	L-26
お気に入り登録をする	L-27
削除する	L-27
お気に入り进行管理する	L-28
再生中の曲をお気に入り登録する	L-30
再生中の曲のジャンルとミュージック エスコートを設定する	L-32

Music Rack モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン

イコライザー設定画面を表示します。[B] H-27

② **♪** ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。[B] L-5

③ **≡** ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
[B] L-4

④ **🎵** ボタン(アルバムリスト)

アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。
[B] L-4

⑤ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
[B] H-18

⑥ **選曲モード** ボタン*1

6種類の選曲モード(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。[B] L-7

⑦ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
[B] H-14

⑧ **編集** ボタン*2

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、ジャケット写真の登録、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。
[B] L-14、L-23

⑨ **登録** ボタン*2

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュージックエスコートに変更することができます。
[B] L-30

⑩ **Quick** ボタン

Quick機能を使用することができます。
[B] B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[B]「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。



アドハイス

* 1 印…走行中は操作できる機能が制限されます。

* 2 印…走行中は操作できません。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ トラック名表示

④ 選択中の選曲モードの内容を表示

※どの選曲モードを選んでもアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合、表示される選曲モードは“全曲”表示となります。

[H-24] 選曲モードL-7

⑤ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示

⑥ 音場表示

選択中の音場を表示します。[H-24]

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

[EQ] マークが表示されます。

[H-27]

⑦ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[H-14]を参照ください。

⑧ ジャケット写真表示

ジャケット写真が登録されている場合に表示されます。

[L-21]



アドバイス

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ・英数対応しています。)

●タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

●アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“新規アーティスト”／“トラック××”／“新規アルバム△△△△ △△△”と表示されます。

※××にはトラック番号、△には録音した西暦・月・日の数字が入ります。

●実際と異なるトラック名／アルバム名表示のまま録音した場合は、異なった情報のまま本機に録音されます。

●ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

選曲モード(🔍 L-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

1

📁 または 🎵 をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ 📁 をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



選曲モード(🔍 L-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックリスト表示となります。

■ 🎵 をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



選曲モード(🔍 L-7)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。

※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。

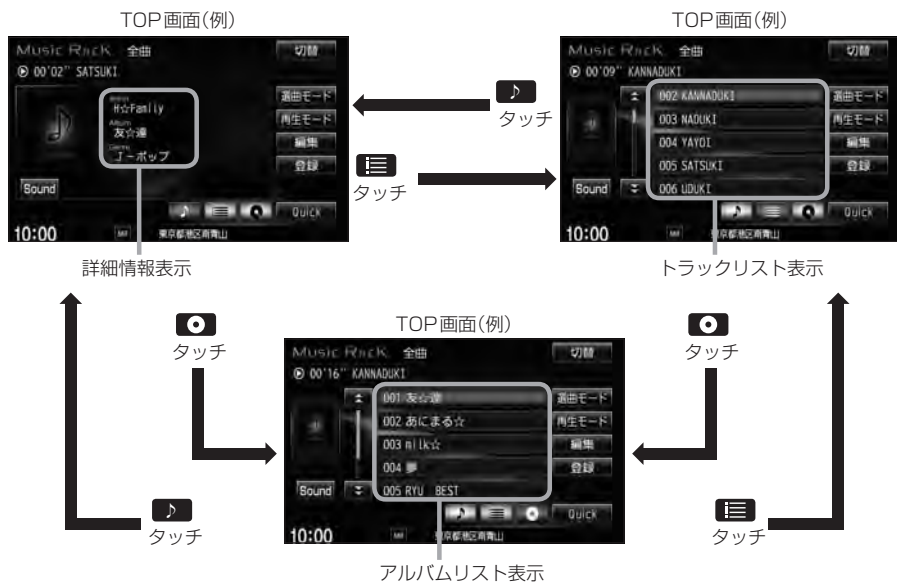
※選曲モードでジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細情報表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



- 選曲モード(L-7)で“アーティスト”を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード(L-7)で **ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り** (お気に入りトラック) を選択した場合は、 は選択できません。

2

再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- / をタッチしてトラックを選択することもできます。 H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

L-6 選曲モードより選ぶ

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)に自動でふり分けれます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

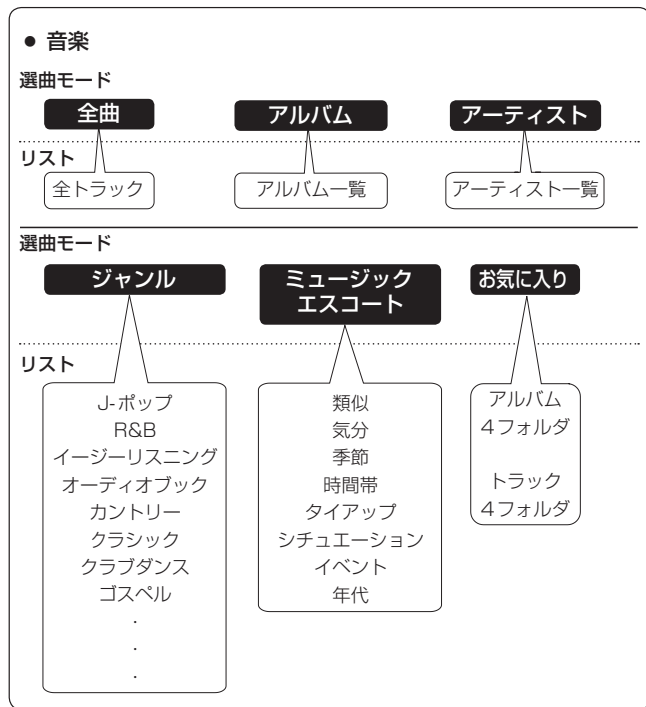
※録音された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。録音につきましては「[P-16](#)、Gracenote データベースの更新につきましては「[P-13](#)」をお読みください。

本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り” ボタンもあります。

※“お気に入り” ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

「[P-13](#)」再生中の曲をお気に入り登録する」[L-30](#)

Music Rack モード イメージ図



※アルバムや曲の削除/再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

Music Rackモード TOP 画面
(詳細表示時(例))

2

選曲モードより選曲する方法(**全曲** ／
アルバム ／ **アーティスト** ／ **ジャンル** ／
ミュージックエスコート ／ **お気に入り**)を
 選択する。

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作
 できません。

選曲モード画面

Music
Rack

アドバイス

リストの操作について**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点で、アルバムの最初から再生が始まります。

※録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

: TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **アルバム** をタッチした場合

: アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。



: 選択した曲を再生します。



アドバース

アルバムリスト表示(①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. **登録順** をタッチする。

: 本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。
アルバム名のよみ(“アルバムよみ”)が入っていないと正しく
名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているも
のをリストより名前順に並び替え、さらにその下によみが
入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
(アルバムの編集は「**設定**」L-14参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にして
も他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

■ アーティスト をタッチした場合

: アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

名前順表示の場合(例)



: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



アドバイス

- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(手順①)／アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 登録順 をタッチする。

: 本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ("アーティストよみ"の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(L-9アルバム／アーティストの編集はL-14参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

登録順表示の場合(例)



■ ジャンル をタッチした場合

: ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



アドバース

* ジャンル一覧

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------------|--------|
| ・ J-POP | ・ クラブダンス | ・ パンク | ・ ポップ | ・ 演歌 |
| ・ R&B | ・ ゴスペル | ・ ヒップホップ | ・ メタル | ・ 子供向け |
| ・ イージーリスニング | ・ サウンドトラック | ・ フォーク | ・ ラテン | ・ その他 |
| ・ オーディオブック | ・ ジャズ | ・ フュージョン | ・ レゲエ | |
| ・ カントリー | ・ テクノ | ・ ブルース | ・ ロック | |
| ・ クラシック | ・ ニューエイジ | ・ ホリデー | ・ ワールドミュージック | |

● トラックリストは Gracenote データベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。

● トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

☞ 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」 L-32

■ ミュージックエスコート をタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

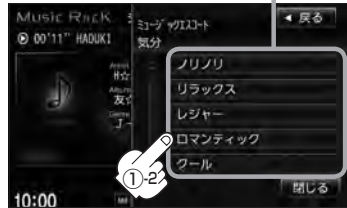
① 再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては「[L-12](#)」(アドバイス内表)を参照ください。

ミュージックエスコートリスト
大分類

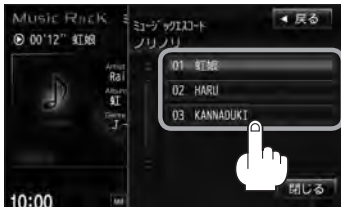


ミュージックエスコートリスト
小分類



：選択した小分類のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



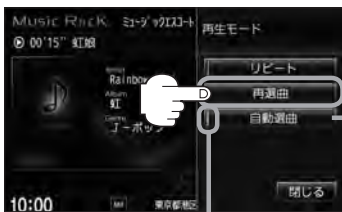
トラックリスト

：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。

「[L-12](#)」下記参照

□ 再選曲するとき



選択時点灯

1. 再生画面で **再生モード** をタッチする。

2. **再選曲** をタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

初期状態は“自動選曲”に設定されています。

自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下の通りとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	1960年代／1970年代／1980年代／1990年代／2000年代／2010年代

- ミュージックエスコートにはMCDB(CD収録属性)を利用した主観的楽曲(テンポ・シチュエーション・季節など)が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分にあわせた選曲が可能です。
- 選曲モードがミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。【P】H-17
- トラックリストはGracenote データベース／MCDB データベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択することに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ(ソロ／デュエット／グループ)の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲
 を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。【P】「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」L-32

■ お気に入り をタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

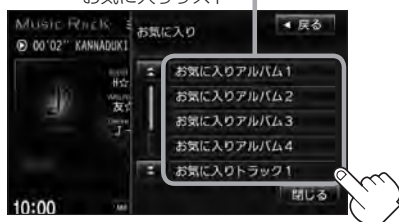
- ① 再生させたいお気に入りアルバム
1～4またはお気に入りトラック
1～4をタッチする。



アドバイス

お気に入り登録をしていないと、手順1. (【P】L-13)
以降の操作はできません。
【P】「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

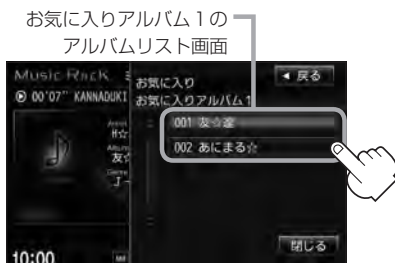
お気に入りリスト



□ **お気に入りアルバム 1 をタッチしたとき**

：お気に入りアルバム 1 に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。



：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



2. 再生したいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

□ **お気に入りトラック 1 をタッチしたとき**

：お気に入りトラック 1 に収録されているトラックリストが表示されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。



アドバイス

ジャンルリスト(📖 L-10)、ミュージックエスコートリスト(📖 L-11)、お気に入りリスト(📖 L-12)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenote データベース / MCDB データベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

アルバム編集をする

1

編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューより **曲管理** をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※ Music Rack 再生中は編集メニューのボタンを選択できません。メッセージが表示されるので、**はい** をタッチして再生を停止してください。



お気に入り管理 ボタン

お気に入りフォルダ名の変更や削除などを行うことができます。

📖 L-28

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

📖 L-15

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

📖 L-23

3

編集したいアルバムを選択し、

アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。



曲管理画面

3-2

3-1

アルバムリスト

※曲管理画面のその他の項目につきましては

📖 トラック表示…L-23

再生選択…L-19

お気に入り登録…L-20

ジャケット写真…L-21

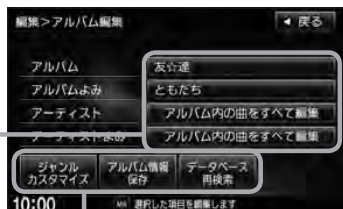
削除…L-22

を参照ください。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

アルバム編集画面(例)

タイトル名の編集をする場合は
[F] 下記参照



お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
[F] L-17、18 参照ください。

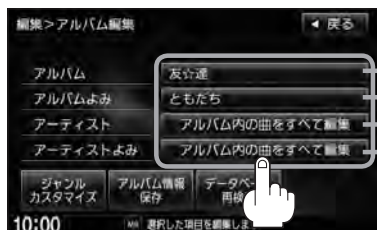
■ タイトルの編集をする場合

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面(例)



アルバム名
アルバム名の読みがな(読みかた)
アーティスト名
アーティスト名の読みがな(読みかた)



アドハイス

- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面に入力してください。
※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面([F] L-8)／アーティストリスト画面([F] L-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面([F] L-23)から確認することができます。
※再生画面(TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

② 入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

□ ひらがなとカタカナを入力するとき

例「わわ」と入力する場合

1 **わ** をタッチする。

: 画面上部に、「わ」が表れます。

50音パレット

3 **ワ** を選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」が表れる。)1文字分のスペースを
空けます。← → をタッチして
カーソルの位置を変え
ることができます。2 **カナ** をタッチする。: 50音パレットがカタカナ
に変わります。

※タッチするたびに

と切り替わります。
用途にあわせて切り替え
てください。

入力した文字を訂正する場合

① **訂正** をタッチする。

: 1文字消去します。

※全ての文字を訂正する場合は、

訂正 を1.5秒以上タッチします。

②正しい文字を入力する。

小文字に変換したい場合

小文字 をタッチする。: 50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わ
ります。※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わ
ります。用途にあわせて切り替えてください。

□ 漢字を入力するとき

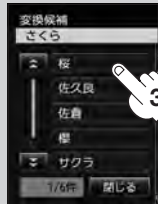
例「桜」を入力する場合

1 **さくら** をタッチする。

: 画面上部に「さくら」と表示されます。

2 **変換** をタッチする。

: さくらに該当するリストが表示されます。

3 **桜** をタッチする。: 画面上部に「桜」と表示さ
れます。※リストをタッチする前に
閉じる をタッチすると
何も選択しないままリス
トを閉じます。漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に
← → を選択します。※ **無変換** をタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。※ **戻る** をタッチすると入力した文字は確定されません。③ 入力を終わったら **決定** をタッチする。

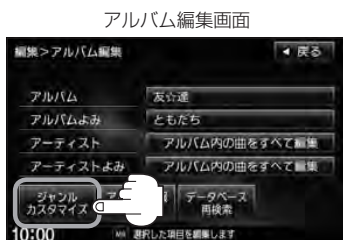
: 変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。



■ ジャンルを変更する場合

※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

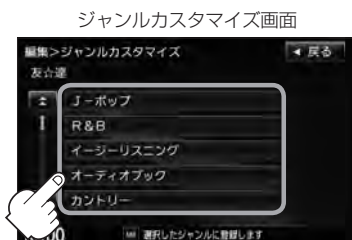
- ① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

- ② **好きなジャンルボタンをタッチする。**

※ジャンルの種類につきましては **㊦** L-10 のアドバースを参照ください。

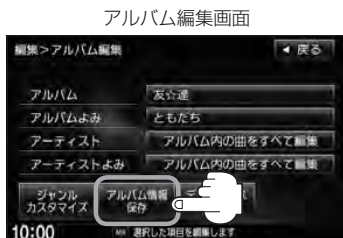


：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

■ アルバム情報を保存する場合

※本機に収録されていないタイトル情報を本機の Gracenote データベースフォルダに保存します。

- ① **アルバム情報保存** をタッチする。



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバース

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

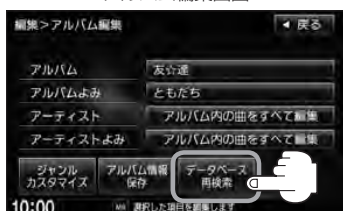
カスタムアップデート(個別更新)

1. Gracenote 音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(**㊦** ト18 ①～⑥)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(**㊦** ト19 ⑦)

■ データベースから再検索する場合

① データベース再検索 をタッチする。

アルバム編集画面



※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

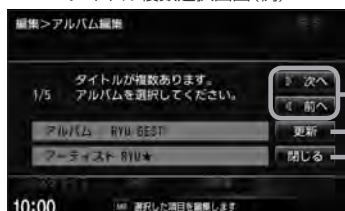


アドバイス

データベース再検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバムを選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。

タイトル複数選択画面(例)



1 **次へ** / **前へ** をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチします。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生選択をする

チェックマーク(✓)のアルバムのみ再生させることができます。

1

L-14の手順1、2に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2

再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

曲管理画面



3

再生させたくないアルバムを選択し、

決定 をタッチする。

再生選択画面(例)



アルバムを一括で選択することができます。
(全てのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(全てのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このアルバムは再生されません。

✓表示：このアルバムは再生されます。

：曲管理画面に戻ります。



アドバンス

●✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。

●本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に「前へ」/「次へ」が表示されます。

※「前へ」/「次へ」をタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

お気に入り登録をする

※アルバムリスト(☞ L-14)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

1 L-14の手順 1、2 に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 お気に入り登録したいアルバムを選択し、 お気に入り登録 をタッチする。

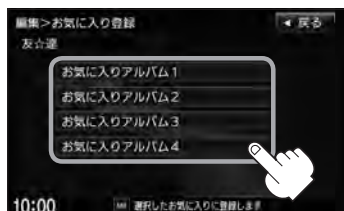
：お気に入り登録画面が表示されます。



3 登録したい場所(お気に入りアルバム 1～4) をタッチする。

：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するにはL-27を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。

☞ 「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

ジャケット写真を登録する

※メディアに保存している画像をアルバムのジャケット写真として登録し表示させることができます。

1 L-14の手順1、2に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 表示させたいアルバムを選択し、**ジャケット写真**をタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。



3 登録したい画像データが入ったメディア (SDカード / USB) を選択し、**ジャケット写真を選択する**をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



Music

4 登録したい画像データが入ったフォルダをタッチする。

：画像選択画面が表示されます。

※サムネイル表示されます。



5 登録したい画像をタッチする。

：ジャケット写真として登録され、メディア選択画面に戻ります。

※選択したアルバムにすでに画像が登録されている場合は上書きするかどうかのメッセージが表示されるので **はい** / **いいえ** を選択してください。



メディア選択画面

登録された画像



アドバイス



登録された画像は再生画面で表示されます。

- Music Rackのアルバムへ登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
 - ※ 200×200ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
 - ※ 16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

削除する

※アルバムを削除することができます。

1

L-14の手順**1**、**2**に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2

削除したいアルバムを選択し、
削除 をタッチする。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。

※削除しない場合は **いいえ** をタッチしてください。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

トラック編集をする

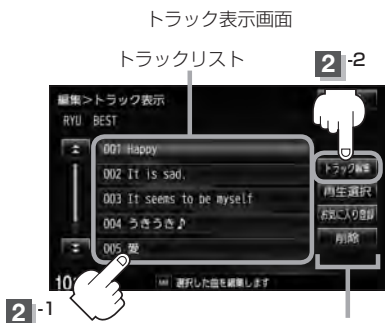
- 1 L-14の手順1、2に従って操作し、手順3のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示**をタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。



- 2 編集したいトラックを選択し、**トラック編集**をタッチする。

：トラック編集画面が表示されます。

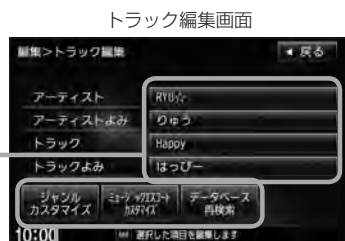


※トラック表示画面のその他の項目につきましては
[再生選択…L-26](#)
[お気に入り登録…L-27](#)
[削除…L-27](#)
 を参照ください。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は

[L-24](#) 参照



お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
[L-24、25](#) 参照ください。

トラックリストの編集(曲管理)

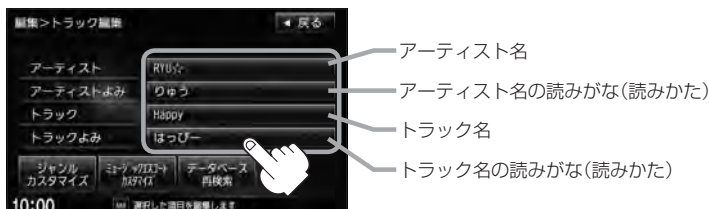
■ タイトルの編集をする場合

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(L-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は「データベース再検索」をタッチしてください。

② 入力する。

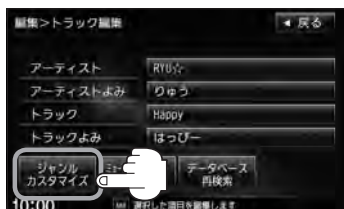
※入力のしかたはL-16を参考にしてください。

■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① ジャンルカスタマイズ をタッチする。

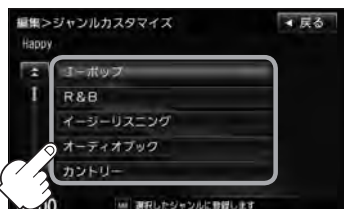
トラック編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



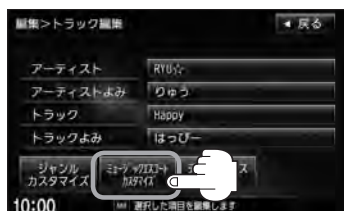
：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

■ ミュージックエスコート(分類)を変更する場合

※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

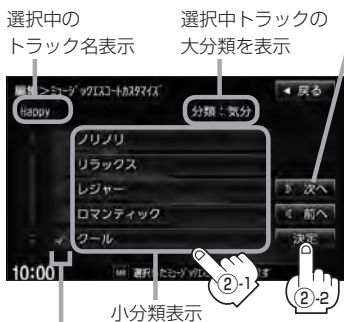
① ミュージックエスコートカスタマイズ をタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



② リストより小分類を選択し、決定 をタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☐表示：設定されていません。

☒表示：設定されています。

※ミュージックエスコートの大分類/小分類(一覧)につきましてはL-12のアドバイスを参照してください。

※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

前へ / 次へ タッチで大分類が

気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ
イベント ↔ シチュエーション
と切り替わる

次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

前へ をタッチすると1つ前の大分類の小分類リストを表示

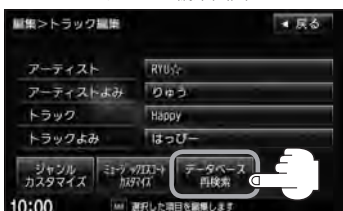


：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、トラック編集画面に戻ります。

■ データベースから再検索する場合

① データベース再検索 をタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を書き直すことができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

再生選択をする

チェックマーク(✓)のトラックのみ再生させることができます。

1

L-14の手順**1**、**2**に従って操作し、**トラック表示** をタッチする。

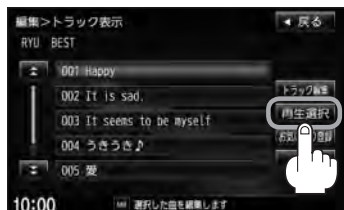
：トラック表示画面が表示されます。

2

再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

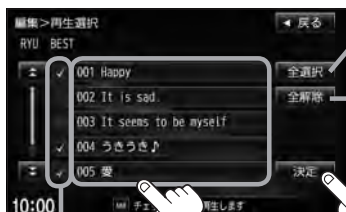
トラック表示画面

**3**

再生させたくないトラックを選択し、

決定 をタッチする。

再生選択画面(例)



トラックを一括で選択することができます。
(全てのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(全てのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

3-2

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このトラックは再生されません。

✓表示：このトラックは再生されます。

：曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** が表示されます。

※ **前へ** / **次へ** をタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

お気に入り登録をする

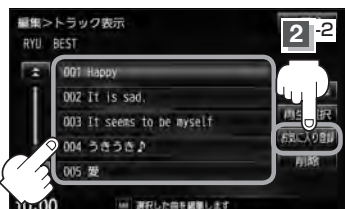
※トラック表示画面より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

1 L-14の手順**1**、**2**に従って操作し、**トラック表示**をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

2 お気に入り登録したいトラックを選択し、**お気に入り登録**をタッチする。

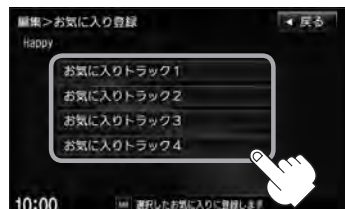
：お気に入り登録画面が表示されます。



3 登録したい場所(お気に入りトラック1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するにはL-14、L-20を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。[再生]「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

削除する

※トラックを削除することができます。

1 L-14の手順**1**、**2**に従って操作し、**トラック表示**をタッチする。

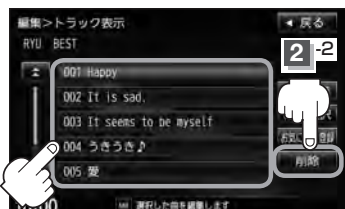
：トラック表示画面が表示されます。

2 削除したいトラックを選択し、**削除**をタッチする。

：選択したトラックを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチしてください。

※削除しない場合は**いいえ**をタッチしてください。

トラック表示画面



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

お気に入り入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

1

編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューより **お気に入り管理** をタッチする。

編集メニュー画面



曲管理 ボタン

アルバム／トラックの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。

【P L-14

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

【P L-15

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

【P L-23

：お気に入り管理画面が表示されます。

3

編集したいお気に入りフォルダ

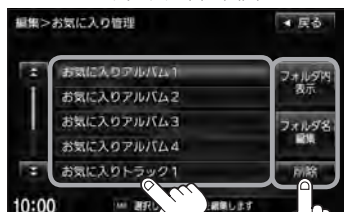
(**お気に入りアルバム1** ～ **お気に入りアルバム4**)

または **お気に入りトラック1** ～ **お気に入りトラック4**)

を選択し、操作したい項目(**フォルダ内表示** ／

フォルダ名編集 ／ **削除**)をタッチする。

お気に入り管理画面



3-1

3-2



アドバイス

お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

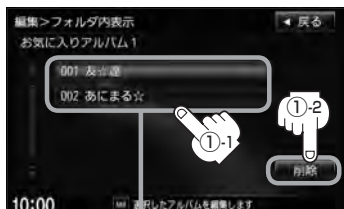
【P L-20、L-27、L-30

■ フォルダ内表示 をタッチした場合

：フォルダ内表示画面が表示されます。

- ① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除**をタッチする。

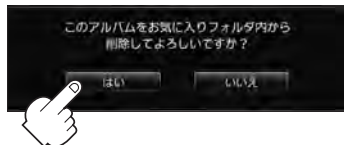
フォルダ内表示画面



L-28手順 3 で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ② 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。



：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 をタッチした場合

：フォルダ名編集画面が表示されます。

- ① 50音パレットを使って入力し、**決定**をタッチする。

※入力のしかたはL-16を参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前)を変更することができます。



■ 削除 をタッチした場合

- ① 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

※選択したお気に入りフォルダ(アルバム1～4／トラック1～4)内の曲を一括で(1フォルダ(最大200アルバムごと)削除することができます。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

再生中の曲をお気に入りに登録する

再生中の曲をお気に入りに登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



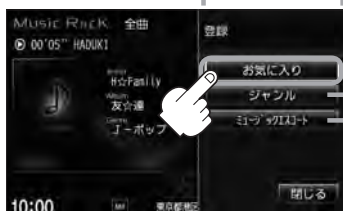
2

お気に入り をタッチする。

※ Music Rack 再生中はお気に入りに登録できません。

メッセージが表示されるので、**はい** をタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面



ジャンル ボタン

1 曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

☞ L-32

ミュージックエスコート ボタン

再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

☞ L-33

：お気に入りに登録画面が表示されます。

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は

お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** の中から、

再生中トラックを登録したい場合は

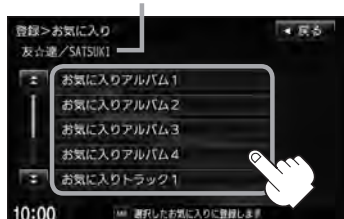
お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** の中から

登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順 **1** の画面に戻ります。




お気に入りに登録画面

アルバム名／トラック名を表示
(長い場合は途中までの表示となります。)






アドバイス


- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「お気に入り进行管理する」L-28
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
 - ・ アルバムを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」L-20に従って操作する。
 - ・ トラックを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」L-27に従って操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成


お気に入りアルバム1

 フォルダ 200アルバム
(200CD)


お気に入りアルバム2

 フォルダ 200アルバム
(200CD)


お気に入りアルバム3

 フォルダ 200アルバム
(200CD)


お気に入りアルバム4

 フォルダ 200アルバム
(200CD)
4つのアルバム
フォルダ1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能


お気に入りトラック1

 フォルダ 200トラック
(200曲)


お気に入りトラック2

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

 フォルダ 200トラック
(200曲)
4つのトラック
フォルダ1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1

登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

設定(カスタマイズ)しなおしたい項目(**ジャンル** / **ミュージックエスコート**)をタッチする。

※ Music Rack 再生中は設定できません。

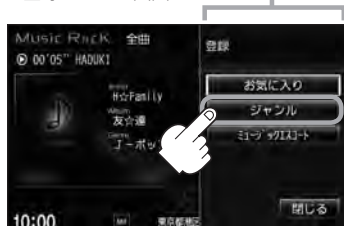
メッセージが表示されるので、 **はい** をタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

① **ジャンル** をタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

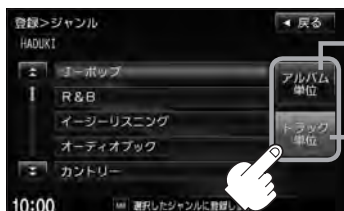
登録メニュー画面



② **アルバム単位** または **トラック単位** をタッチする。

③ お好きなジャンルをタッチする。

選択中のトラック名または
アルバム名を表示



選択中アルバムの
ジャンル変更
となります。

選択中トラック
のジャンル変更
となります。



：ジャンルは変更(登録)され
TOP画面に戻ります。

※ジャンルの種類につきましてはL-10アドバイス内「*ジャンル一覧」を参照ください。

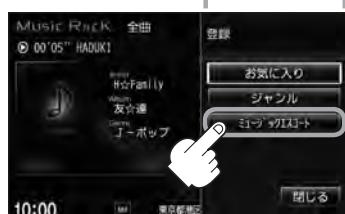
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

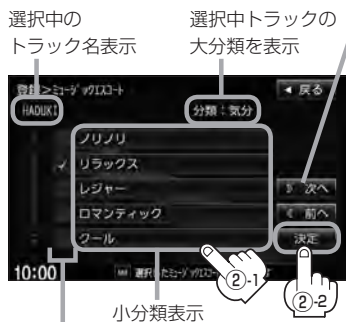
① ミュージックエスコートをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー画面

② リストより小分類を選択し、**決定** をタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：設定されていません。

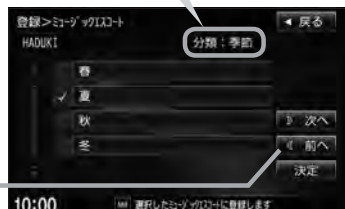
✓表示：設定されています。

前へ / 次へ タッチで大分類が

気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ ↔
イベント ↔ シチュエーション ↔
と切り替わる

次へ をタッチ
すると次の大分
類の小分類リス
トを表示

前へ をタッチ
すると1つ前の
大分類の小分類
リストを表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

分類	
大分類	小分類
気分	ノリノリ／リラックス／ レジャー／ロマンティック／ クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝
：	：
：	：
：	：

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましてはL-12アドバイスを参照してください。
- ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

M

USB機器を使う (USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)

本機はUSBフラッシュメモリとウォークマン®を接続し、使用することができます。
本書ではUSBフラッシュメモリとウォークマン®を総称してUSB機器と記載しています。

USB機器について	M-2
ウォークマン®について	M-3
対応可能なウォークマン®	M-4
USB機器を接続する	M-5
USB機器を本機に接続する	M-5
USB機器の接続をやめる	M-5
各部の名称とはたらき	M-6
音楽再生(音楽ファイルモード)について	M-6
音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について	M-7
画像再生(画像ファイルモード)について	M-8
画像再生(画像ファイルモード)の表示部について	M-8
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	M-9
選曲モードより選ぶ	M-13

M-2 USB機器について

USB機器にMP3／WMA／AAC／JPEG形式で作成された音楽／画像データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽／画像ファイルは再生できません。

☞ 音楽ファイル…K-3、O-4／画像ファイル…T-13

- MP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

- MP3／WMAの規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては

☞ 「MP3／WMAファイルについて」K-2を参照ください。

- AACの規格(サンプリング周波数／ビットレート／ファイル名など)につきましては

☞ 「●AACの規格について」O-4／「●音楽ファイルの再生について」／「●音楽ファイルのファイル名について」O-5を参照ください。

- JPEGにつきましては☞ 「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照ください。

- USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン[®])内のデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

- 本機にはUSB機器は付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

- 32 GBまでの容量のUSBフラッシュメモリに対応しています。また、256 MB以上のUSBフラッシュメモリの使用をおすすめします。

※ウォークマン[®]につきましては☞ M-3を参照ください。

- 別売のUSBメモリーデバイスコードにUSB機器を接続してご使用ください。

☞ 「USB機器を接続する」M-5

- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリ、およびATRAC AD対応のウォークマン[®]に対応しています。

- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。

- 電流が500 mAを超えるデバイスには対応していません。

- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。

- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。

- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。

- USB機器の音楽再生中にUSB機器(または別売のUSBメモリーデバイスコード)を外さないでください。

※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。

- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。

- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。

- 全てのUSB機器の動作保証するものではありません。

- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。

- 本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。
 - ※ 2012年2月現在に発表されているものに限りです。
 - ※ Windows Media Video(WMV)には対応していません。
 - ※ Walkman Phoneには対応していません。
 - ※ 対応可能なウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」M-4を参照ください。
 - ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の取扱説明書を参照ください。
 - ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
 - 本機の電源ON状態でウォークマン®接続中は、充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
 - ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
 - ※ 拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
 - ※ 異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
 - ※ 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
 - ウォークマン®付属のx-アプリ、Sonic Stageから転送した音楽ファイルのみに対応しています。
 - ドラッグ&ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transferで転送した音楽ファイルには対応していません。
 - ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
 - ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
 - 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®の対応している階層とは異なります。)
 - ウォークマン®を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
 - ウォークマン®が接続されているときに、ウォークマン®の上に乗ったり、物を上に置かないでください。
 - 「歌詞ピタ」サービス/「ちょい聴きmora」サービス/おまかせチャンネル/お出かけ転送/ポッドキャスト/カラオケ・語学学習モードには対応していません。
- ※ “WALKMAN” “ウォークマン” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。
- ※ x-アプリ、SonicStage、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- ※ 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- ※ moraおよびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。

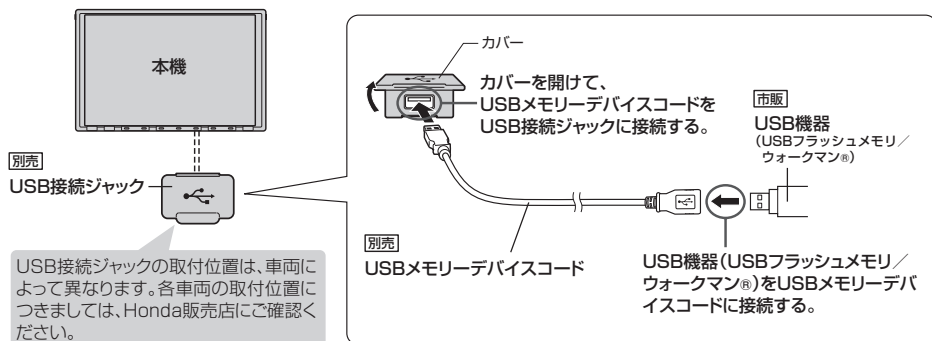
対応可能なウォークマン®

2012年2月現在

モデル名	ミュージック(音楽)	フォト(画像)
NW-E305／E307	○	×
NW-E405／E407	○	×
NW-E505／E507	○	×
NW-E002／E003／E005	○	×
NW-E013／E015／E016	○	×
NW-E023F／E025F／E026F	○	×
NW-E042／E043／E044	○	×
NW-E052／E053	○	×
NW-E052K／E053K	○	×
NW-E062／E063	○	×
NW-E062K／E063K	○	×
NW-A605／A607／A608	○	×
NW-A805／A806／A808	○	○
NW-A916／A918／A919	○	○
NW-A828／A829	○	○
NW-A845／A846／A847	○	○
NW-A855／A856／A857	○	○
NW-A865／A866／A867	○	○
NW-S203F／S205F	○	×
NW-S603／S605	○	×
NW-S703F／S705F／S706F	○	×
NW-S615F／S616F	○	○
NW-S636F／S638F／S639F	○	○
NW-S715F／S716F／S718F	○	○
NW-S736F／S738F／S739F	○	○
NW-S644／S645	○	○
NW-S744／S745／S746	○	○
NW-S754／S755／S756	○	○
NW-S764／S765／S766	○	○
NW-S636FK／S638FK	○	○
NW-S736FK／S738FK	○	○
NW-S644K／S645K	○	○
NW-S744K／S745K	○	○
NW-S754K／S755K	○	○
NW-S764K／S765K	○	○
NW-S764BT	○	○
NW-X1050／X1060	○	○
NW-Z1050／Z1060／Z1070	×	×
NW-HD1	×	×
NW-HD2	×	×
NW-HD3	×	×
NW-HD5／HD5H	×	×
NW-A1000／A1200	×	×
NW-A3000	×	×
NW-E103／E105／E107	×	×
NWD-W202	×	×
NWD-W253	×	×
NWD-W263	×	×

USB 機器を本機に接続する

- 別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器を接続する。



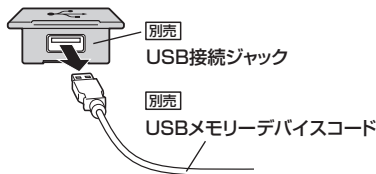
USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。[N-4]
※ USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

- [電源] をタッチする。([H-9])

：AV電源をOFFします。

- USB接続ジャックからUSBメモリーデバイスコードを外す。



- カバーを閉じる。

※ USBメモリーデバイスコードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。



- USB機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※ USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器(またはUSBメモリーデバイスコード)を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損するおそれがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

USB機器(USBフラッシュメモリ/ウォークマン[®])内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。

- ・MP3/WMA/AACファイル(USBフラッシュメモリ)……音楽再生[M-6、M-7
- ・MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3Plus(ウォークマン[®])……音楽再生[M-6、M-7
- ・JPEGファイル……画像再生[M-8

※動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)の切り替えにつきましてはH-21を参照ください。

- 画像はUSBフラッシュメモリ再生時を記載しています。ウォークマン[®]再生時も同様の表示(操作)となります。

音楽再生(音楽ファイルモード)について

USB(USBフラッシュメモリの音楽ファイル)TOP画面
(詳細表示時(例))



① Sound ボタン

イコライザー設定画面を表示します。[H-27

② ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。[M-10

③ ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
[M-9

④ ボタン(フォルダリスト)

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
[M-9

※ウォークマン[®]を接続している場合、 ボタン(フォルダリスト)が ボタン(アルバムリスト)表示に変わります。[M-11

⑤ 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
[H-18

⑥ 選曲モード ボタン

選曲モード(全曲/フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
[M-13

⑦ 再生モード ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
[H-14

⑧ モード切替 ボタン

USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。
[H-21

⑨ Quick ボタン

Quick機能を使用することができます。
[B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

USB フラッシュメモリを接続している場合(詳細表示時(例))



⑤ 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[H-21]

④ 選曲モード

選択中の選曲モードの内容を表示します。

[M-13]

⑤ トラック名表示*1

⑥ アーティスト名表示／アルバム名表示／
ジャンル名表示／フォルダ名表示☆

⑦ 音場表示

選択中の音場を表示します。[H-24]

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

[H-27]

⑧ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[H-14]を参照ください。

⑨ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC / OMA☆

⑩ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

[O-4] *印参照



アドバンス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名☆の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、「No Title」と表示されます。

* 1 印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。

※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

☆印…ウォークマン®を接続している場合は OMA マークが表示されます。ウォークマン®接続中の再生画面にフォルダ名は表示されません。

画像再生(画像ファイルモード)について

USBモード(USBフラッシュメモリの画像ファイル)TOP画面(例)



① 前へ / 次へ ボタン

好きなファイル(画像)を選びます。[B] H-22

② 切替 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン

一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。[B] H-22

④ 回転 ボタン

表示中の画像を90度ずつ回転します。[B] H-23

⑤ リスト ボタン

画像の入っているフォルダを表示します。

[B] H-23

⑥ モード切替 ボタン

USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。

[B] H-21

⑦ Quick ボタン

Quick機能を使用することができます。

[B] B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[B]「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について



① 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[B] H-21

② 画像撮影日表示

年、月、日を表示します。

③ 画像名表示

※ウォークマン®のリスト表示につきましては、[M-12](#)を参照ください。

1

 または  をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバンス

選曲モード([M-13](#))で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル



アドバイス

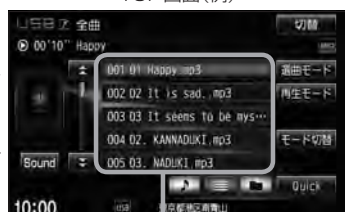
TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。

TOP画面(例)



詳細情報表示

TOP画面(例)



トラックリスト表示

TOP画面(例)



フォルダリスト表示

タッチ

タッチ

タッチ

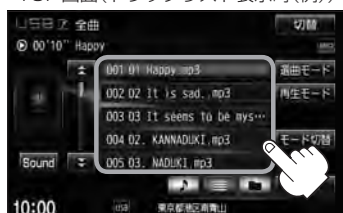
タッチ

2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- / をタッチしてトラックを選択することもできます。[P] H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

※ USB フラッシュメモリのリスト表示につきましては M-10 を参照ください。

1

 または  をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(M-13)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/グループ/プレイリスト)のトラックリスト表示となります。

■ をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(M-13)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。

※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバムのリスト表示となります。

※選曲モードでジャンル/グループ/プレイリストを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

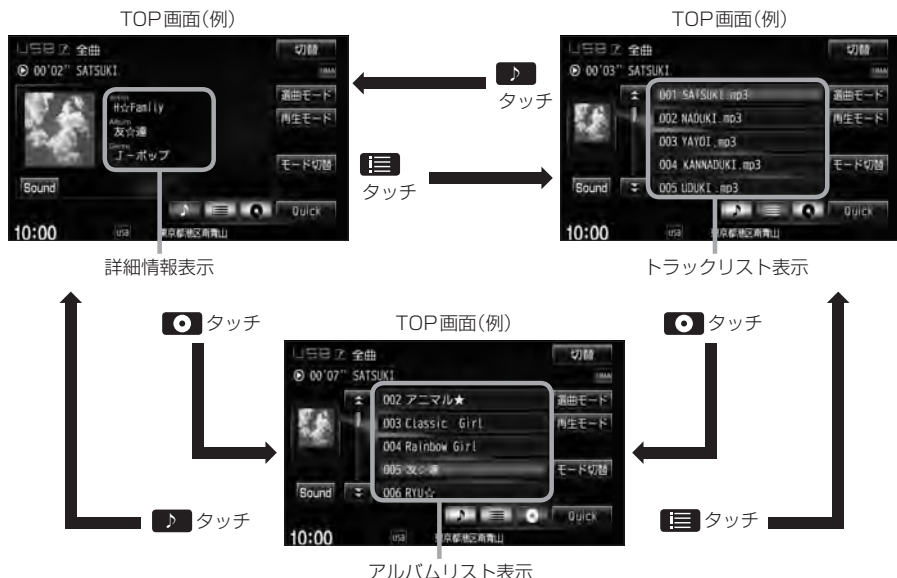
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



2

再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
 - / をタッチしてトラックを選択することもできます。 H-12
 - トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
- ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
- ※走行中はスクロールしません。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP 画面 (詳細表示時 (例))



2

選曲モードより選曲する方法を選択する。

※走行中は、**全曲** ボタン以外は操作できません。

■ USBフラッシュメモリの場合 (MP3 / WMA / AAC)

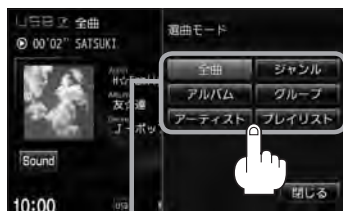
全曲 / **フォルダ** より選択する。



選曲モード

■ ウォークマン® の場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** / **アーティスト** /
ジャンル / **グループ** / **プレイリスト**
より選択する。



選曲モード



アトハイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- USBフラッシュメモリの場合、停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。
- ウォークマン® の場合、停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※ USB機器に収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※ 選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

□ **全曲** をタッチした場合

: TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

□ **フォルダ** をタッチした場合 (USBフラッシュメモリ再生時)

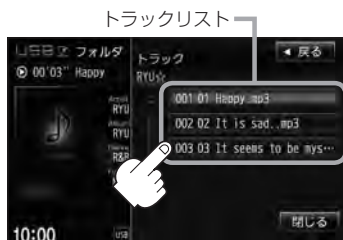
: フォルダリストが表示されます。

① 再生させたいフォルダをタッチする。



: 選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

□ **アルバム** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。



アルバムリスト

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



トラックリスト

: 選択した曲を再生します。

□ **アーティスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。



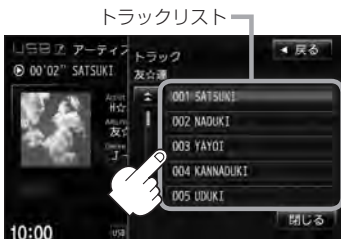
: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

□ **ジャンル** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

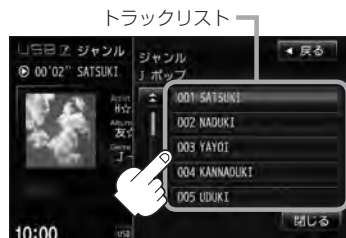
: ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



アドバイス

ウォークマン®再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

□ **グループ** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: グループリストが表示されます。

- ① 再生させたいグループをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したグループのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

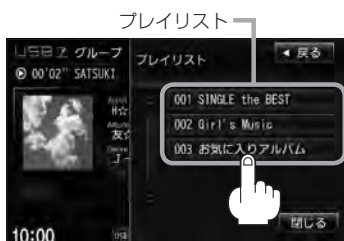


: 選択した曲を再生します。

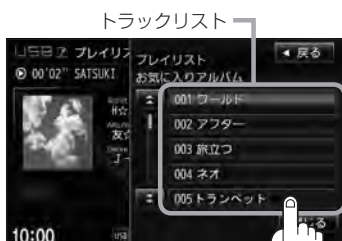
□ **プレイリスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: プレイリストが表示されます。

- ① 再生させたいグループをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

N

iPod を使う

iPodについて	N-2
iPodとは	N-2
使用上のご注意	N-2
対応可能なiPod	N-3
iPodを本機に接続する	N-4
各部の名称とはたらき	N-5
表示部(再生画面)について	N-6
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	N-7
選曲モードより選ぶ	N-8
再生を一時停止する	N-13
映像データを再生させる	N-14

N-2 iPodについて

Made for



iPod



iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォート、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。



アドバース

* 印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは車のエンジンスイッチⅡ(ON)／O(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod接続コードをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- 本機にはiPodは付属しておりません。
- 別売のiPod接続コードにiPodを接続してご使用ください。☞「iPodを本機に接続する」N-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

対応可能な iPod

2012年2月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第5世代(with video)	●	1.3
iPod classic(80G/160G)	●	1.1.2
iPod classic(120G)	●	2.0.1
iPod classic(160G)	●	2.0.4
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	●	1.1.3
iPod nano(第4世代)	●	1.0.4
iPod nano(第5世代)	●	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.2
iPod touch(第1世代)	●	3.1.3
iPod touch(第2世代)	●	4.2.1
iPod touch(第3世代)	●	5.0.1
iPod touch(第4世代)	●	5.0.1
iPhone 3G(softbank)	●	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	●	5.0.1
iPhone 4(softbank)	●	5.0.1
iPhone 4S(softbank/au)	●	5.0.1

●：オーディオ・ビデオ再生可／○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)

最新の適応情報は下記 URL をご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

アドバイズ

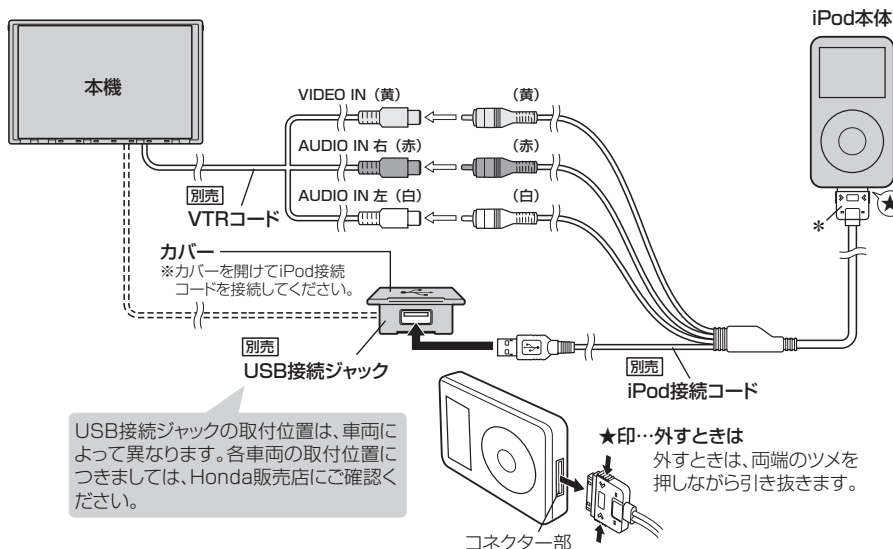
- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPad、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応しておりません。
- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPod を本機に接続する

1

別売のUSB接続ジャックに別売のiPod接続コードを接続し、iPod本体と接続する。

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると映像・音声の再生が可能となります。
(映像の再生につきましては「**図** N-14」を参照ください。)



アドバンス

●USB接続ジャックにUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合はそちらを外してください。

「**図** M-5

※iPod使用時は、USB機器(USBフラッシュメモリウォークマン[®])は使用できません。

- USB接続ジャックからiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合は、そちらを外してください。「**図** R-3
- ★印…コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。
- 未接続の場合、AV SOURCE画面で「iPod」は選択できません。

iPod を本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は曲を聞くことはできません。)
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチをO(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。(ただし、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。)

iPodモード(ミュージックモード)TOP画面(詳細表示時(例))



- ① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。
[H-27]
- ② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。
[N-7]
- ③ **≡ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
[N-7]
- ④ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
[H-18]
- ⑤ **選曲モード ボタン**
選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
[N-8]
- ⑥ **▶|| ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声／映像が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
[N-13]
- ⑦ **再生モード ボタン**
リピート／シャッフル再生の選択をすることができます。
[H-14]
- ⑧ **モード切替 ボタン**
iPod内のデータの種類によって、動作モード(ミュージックモード／ビデオモード)を切り替えます。
[H-21]
- ⑨ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
[B-19]

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、[H-2]「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
 || : 一時停止

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。

☞ N-14

④ トラック名表示

⑤ アーティスト名表示／アルバム名表示

⑥ 音場表示

選択中の音場表示します。☞ H-24

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

☞ H-27

⑦ リピート／シャッフル再生時に表示

表示内容につきましては☞ H-14を参照ください。

⑧ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。



アドバース

- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名／トラック名／アルバム名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では～(ハイフン表示)となります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodはiPodモードで再生します。USBモードでは動作しません。

選曲モード(Ⓛ N-8)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))



アドバイス

TOP画面は選択する  ／  によって詳細表示／トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

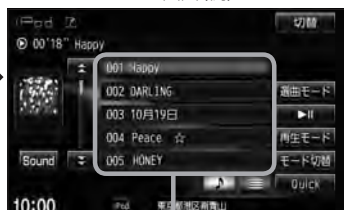


詳細表示

 タッチ

 タッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

iPod

2




再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は  をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
-  ／  をタッチしてトラックを選択することもできます。(Ⓛ H-12)
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

N-8 選曲モードより選ぶ

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法(**全曲** /

アルバム / **アーティスト** / **ポッドキャスト** /

ジャンル / **プレイリスト** / **作曲者**)を選択する。

※走行中は、**全曲** ボタン以外は操作できません。



アドバンス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。

※ iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ アルバム をタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が再
生されます。

：選択した曲を再生します。

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラック
リスト表示とともに、曲が再生されます。

トラックリスト画面



選曲モードより選ぶ

■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアーティストをタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アーティストリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。—さらに—

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

：選択した曲を再生します。

■ ポッドキャスト をタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいポッドキャストをタッチする。 ② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面



：選択したポッドキャストに収録されているリスト表示とともに、ポッドキャストが再生されます。

ポッドキャストリスト画面



：選択したポッドキャストを再生します。

■ **ジャンル** をタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

② 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて をタッチすると①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると②で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバース

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)は iPod 本体に収録されている内容となります。(iPod の内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ **プレイリスト** をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいプレイリストをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。

■ **作曲家** をタッチした場合

：作曲家リスト画面が表示されます。

- ① 再生させたい作曲者をタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、リストの一番上の曲が再生されます。



すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

→手順③へ



すべて をタッチすると①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。



3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

再生を一時停止する

1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

: 再生を止めます。

再生状態を表示します。

▶ : 通常再生

|| : 一時停止

■ 再び再生を始める場合

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生を始めます。



N-14 映像データを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

※ビデオデータを再生させるには、別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを接続し、USB接続ジャックに接続する必要があります。接続方法につきましては、**「N-4」**を参照してください。

1

モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。



ミュージックモードを表します。

iPodモード TOP画面
(詳細表示時(例))



2

ビデオモード をタッチする。

：iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。

モード切替画面



映像(例)



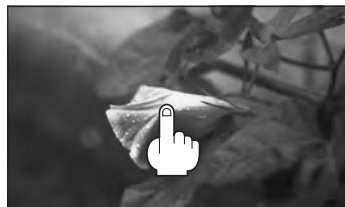
アドバイス

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。



画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**モード切替** をタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



ビデオモードを表示します。



* 印…画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は **切替** をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。



リスト ボタン……………動画リストより選択し、再生させることができます。

〔B〕 N-16

▶|| ボタン……………再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モード ボタン……………再生モード(リピート再生)を選択することができます。

〔B〕 N-16

モード切替 ボタン……………ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。

〔B〕 N-14の手順 **1**、**2** および N-16

Quick ボタン……………Quick機能を使用することができます。

〔B〕 B-19

映像データを再生させる

■ 動画リストより選択し再生させる場合

- ① 操作ボタン表示中に **リスト** をタッチする。



- ② リストより再生させたい動画をタッチする。

：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

- ① 操作ボタン表示中に **再生モード** をタッチする。



- ② **リピート** をタッチする。



：表示灯点灯しリピート機能が働きます。

※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

- ① 操作ボタン表示中に **モード切替** をタッチする。



- ② **ミュージックモード** をタッチする。

：TOP 画面(音楽再生のみ)に戻ります。





アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード** をタッチ)にすることにより見たり、聞いたりすることができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、映像は表示されません。再度、画面をタッチするとビデオモードリストが表示されます。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- 車のエンジンスイッチをO(ロック)したりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、再生していた曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。


O

SD(SDカード)を使う

SDカードについて	0-2
再生可能なデータについて	0-4
音楽ファイルのデータについて	0-4
画像ファイルのデータについて	0-5
各部の名称とはたらき	0-6
音楽再生(音楽ファイルモード)について	0-6
音楽再生(音楽ファイルモード)の 表示部(再生画面)について	0-7
画像再生(画像ファイルモード)について	0-8
画像再生(画像ファイルモード)の 表示部について	0-8
リスト表示より好きなトラックまたは フォルダを選ぶ	0-9
選曲モードより選ぶ	0-11

0-2 SDカードについて

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

- SDHCロゴは商標です。
- SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはSDカードは付属していません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32 GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS- Iには対応していません。
- 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下の通りとなります。

機 能		SDカード (2 GB以下)	SDHCカード (4 GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録* [F-48]		○	○	○	○
音楽データの再生 [K-3、O-4]	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
画像データの再生 [H-22、O-8、T-13]	JPEG	○	○	○	○
Gracenote データベースアップデート [I-13]		○	○	○	○

*印…指定ホームページからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

- ノーブランド品や廉価品、バルク品、模造品などのSDカードを使用すると、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。国内メーカーから販売されている正規品のSDカードを使用してください。
- 256 MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは正しく動作しない場合があります。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- フォーマット(初期化)について
SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
[「データを初期化(消去)する」G-28
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。
本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・ 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードが破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書込中／読み込み中／本機にデータ転送中／音楽・画像再生中にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できません。
※音楽・画像再生中の場合はモードを終了(OFF状態)にさせてから抜いてください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますので買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間で使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

0-4 再生可能なデータについて

音楽ファイル／画像ファイルデータの再生が可能です。

音楽ファイルのデータについて

- MP3／WMA／AAC ファイルを再生することができます。
- MP3／WMA／AAC は音声圧縮フォーマットです。

MP3／WMA の規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
☞「MP3／WMA ファイルについて」K-2 を参照ください。
AAC につきましては下記を参照ください。

● AAC とは？

Advanced Audio Coding の略で MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMA などより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮の CD オーディオに迫る高音質を得ることができます。

● AAC の規格について

サンプリング周波数	16～48 kHz
対応ビットレート	8～320 kbps
対応プロファイル	Low Complexity
再生可能な拡張子	M4A、m4a(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32文字、半角64文字
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
最大フォルダ階層	8階層
1 フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1 メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	400
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名
AAC タグ表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
ジャケット写真	対応*

※ 32 kHz 以下のサンプリング周波数の MP3／WMA／AAC を再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※ 64 kbps 以下のビットレートで作成された MP3／WMA／AAC を再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

* 印…MP3／WMA／AAC ファイルのジャケット写真について

- ・パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付加することができます。
※ Windows Media Player などのアプリケーションを使用してください。
- ・MP3／WMA／AAC ファイルで対応しているジャケット写真の画像は JPEG 形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できない場合があります。
- ・音楽ファイルにつけられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- ・176×176 ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- ・1 つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録している場合、正常に表示できない場合があります。

● 音楽ファイルの再生について

- ・ ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
 - ・ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシス / ADIF フォーマットには対応していません。
 - ・ 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - ・ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
 - ・ 複数のオーディオプログラムが入っているファイルは再生できません。
 - ・ 同一ファイル内にオーディオ以外の情報が入っているファイルは再生できません。
 - ・ 選曲モード(☞ P 0-11)のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞「● 階層と再生順序について」K-6に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順など)に並べフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。



● 音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

画像ファイルのデータについて

☞「画像ファイル(JPEG)について」T-13

SDカード内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。

- ・MP3／WMA／AACファイル……音楽再生  O-6
- ・JPEGファイル……画像再生  O-8

※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはH-21を参照ください。

音楽再生(音楽ファイルモード)について

SDモード(音楽ファイル)TOP画面(詳細表示時(例))




① Sound ボタン

イコライザー画面を表示します。

 H-27

② ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。

 O-10

③ ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。

 O-9

④ ボタン(フォルダリスト)

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。

 O-9

⑤ 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

 H-18

⑥ 選曲モード ボタン

選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

 O-11

⑦ 再生モード ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。

 H-14

⑧ モード切替 ボタン

SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。

 H-21

⑨ Quick ボタン

Quick機能を使用することができます。

 B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、 「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[H-21]

④ 選曲モード

選択中の選曲モードの内容を表示します。

[O-11]

⑤ トラック名表示*

⑥ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示

⑦ 音場表示

選択中の音場を表示します。[H-24]

*イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

[H-27]

⑧ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[H-14]を参照ください。

⑨ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC

⑩ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

[O-4] *印参照



アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
 - アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
 - *印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
 - タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
- *タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

画像再生(画像ファイルモード)について

SDモード(画像ファイル)TOP画面(例)



① 前へ / 次へ ボタン

好きなファイル(画像)を選びます。【P. H-22

② 切替 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン

一定の間隔(3秒、10秒、30秒、1分)で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。【P. H-22

④ 回転 ボタン

表示中の画像を90度ずつ回転します。【P. H-23

⑤ リスト ボタン

画像の入っているフォルダを表示します。

【P. H-23

⑥ モード切替 ボタン

SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。

【P. H-21

⑦ Quick ボタン

Quick機能を使用することができます。

【P. B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、【P. 「各部の名称とはたらき」 H-2を参照ください。

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について



① 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。【P. H-21

② 画像名表示

③ 画像撮影日表示

年、月、日を表示します。

選曲モード(Ⓕ 0-11)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1

Ⓕ または Ⓖ をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ Ⓕ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(Ⓕ 0-11)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

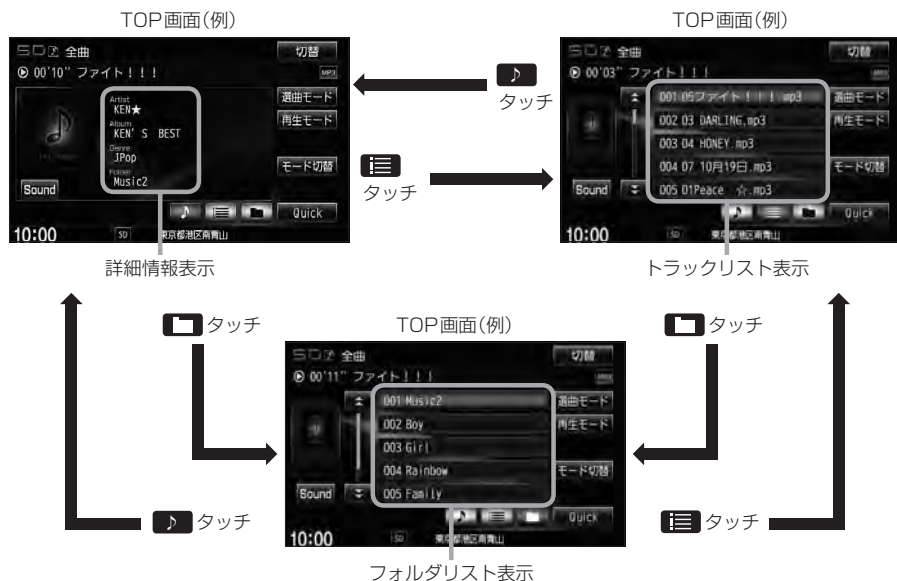
■ Ⓖ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。

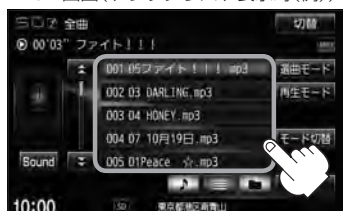


2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- / をタッチしてトラックを選択することもできます。[P] H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP 画面 (詳細表示時 (例))



2

選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **フォルダ**) を選択する。

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面



アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **フォルダ** をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

① 再生させたいフォルダをタッチする。



：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

P

DVDを見る

DVDビデオについて	P-2
ディスクに表示されているマークについて	P-2
VRモードで作成したディスクについて	P-3
ディスクの構成について	P-3
各部の名称とはたらき	P-4
DVDプレーヤーを使う	P-6
再生を停止する	P-7
再生を一時停止(静止)する	P-8
再生中にチャプターを戻す／進める	P-8
コマ戻し／コマ送り／スロー戻し／	
スロー送りをする	P-9
タイトルメニュー／DVDメニューを使う	P-10
好きな所から再生する(サーチ選択)	P-12
音声言語／字幕言語を切り替える	P-14
時間の表示を替える	P-15
リピート(繰り返し)再生する	P-16
アングル(角度)を切り替える	P-17
VRモードディスク内の映像を	
リストより選択し再生させる	P-18
DVDの初期設定について	P-20
初期設定を変更する	P-20



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドパイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●Rovi

本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 Channel is a trademark of DTS, Inc. Product includes software.
© DTS, Inc. All Rights Reserved.

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク (例)	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものだけに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

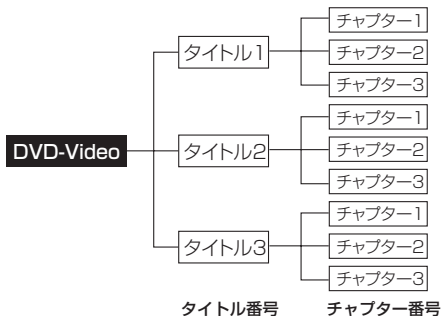
メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

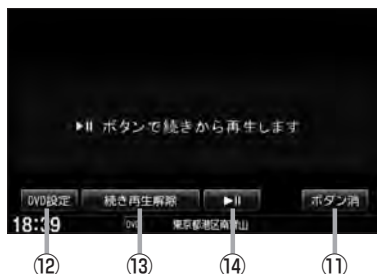
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては「[P-H-2](#)」を参照してください。

操作ボタン1表示画面



停止画面(例)



① **メニュー** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。[P-10](#)

※VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。[P-18](#)、[P-19](#)

② **タイトル** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。[P-10](#)

※VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。[P-18](#)、[P-19](#)

③ **音声** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによりディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。[P-14](#)

※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによりディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。[P-14](#)

⑤ **アングル** ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチすることによりアングルが切り替わります。[P-17](#)

⑥ **リジューム** ボタン

DVDビデオ再生中にメニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行いません。[P-11](#)

⑦ **次へ** ボタン

操作ボタン2の画面を表示します。

⑧ **Quick** ボタン

Quick機能を使用することができます。[B-19](#)

⑨ **■** ボタン(停止)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。[P-7](#)

⑩ **▶||** ボタン(再生/一時停止)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。[P-8](#)

⑪ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ **ボタン消** をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **DVD設定** ボタン

DVD設定画面を表示します。[P-20](#)

⑬ **続き再生解除** ボタン

続きメモリ機能を解除します。[P-7](#)

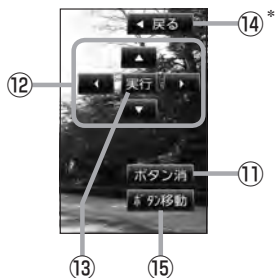
⑭ **▶||** ボタン(再生)

再生を始めるときに使用します。[P-7](#)

操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面*



10キー入力画面*

① **リピート** ボタン

タッチすることによりリピートモードが切り替わります。
 [P-16]

② **タイム** ボタン

再生の時間を表示します。[P-15]

③ **サーチ** ボタン

チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。[P-12]

④ **エンター** ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

⑤ **リターン** ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
 ※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥ **DVD設定** ボタン

DVD設定画面を表示します。[P-20]

⑦ **前へ** ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ **Quick** ボタン

Quick機能を使用することができます。
 [B-19]

⑨ **カーソル** ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)
 [P-10]

⑩ **10キー** ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ **ボタン消** をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **▲ / ▼ / ◀ / ▶** ボタン(カーソルキー)

項目を上下左右選択します。

⑬ **実行** ボタン

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ **戻る** ボタン*

操作ボタン2表示画面を表示します。

*印…サーチ選択画面/10キー入力画面にも
戻る は表示されます。

⑮ **ボタン移動** ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ **訂正** ボタン

10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

⑰ **0 ~ 9** ボタン(10キー)

数字を入力するときに使用します。

⑱ **切替** ボタン

サーチモードを切り替えます。[P-12]



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

画面にDVDメニューまたはタイトルメニューが表示されたとき

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。**ボタン消**をタッチして操作ボタンを消してください。



■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



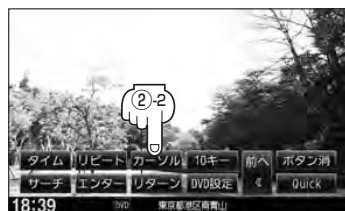
② **次へ** → **カーソル** をタッチする。

: カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



③ **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選択し、**実行** をタッチする。

▶ 「**タイトルメニュー／DVDメニューを使う**」 P-10の手順 **4** を参考にしてください。

: 選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

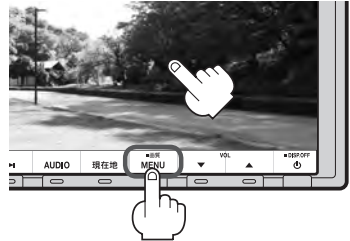
※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

再生を停止する

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

■ (停止) をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。
 (続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に **■ (停止)** をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶|| ボタンで続きから再生します”と表示し、映像／音声を止めます。**▶|| (再生)** をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、**続き再生解除** をタッチするかディスクジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
 ※ **DVD設定** をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。P-20

映像
DVD

3

再び再生を始めるには、
▶|| (再生) をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
 続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

停止画面



アドバンス

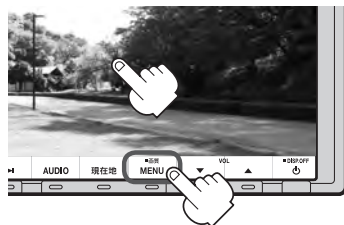
ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面) のとき **続き再生解除** をタッチし、**▶|| (再生)** をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

II (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に“**II**”を表示し、映像を一時停止します。
 (音声も止まります。)

一時停止アイコン

操作ボタン1表示画面



3

再び再生を始めるには、

II (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

4

画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。

再生中にチャプターを戻す／進める

1

II / **II** (スキップ) をタッチする。

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。

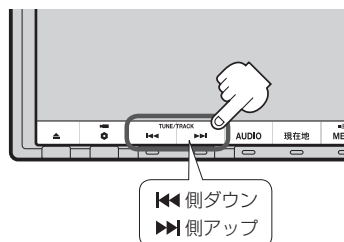
■ 前のチャプターに戻る場合

① **II** を2回タッチする。

※ 1回タッチした場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。*

■ 次のチャプターに進む場合

① **II** をタッチする。



アドバンス

* 印…チャプター再生開始から3秒以内にタッチした場合は、前のチャプターの頭に戻ります。

● チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。

● ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

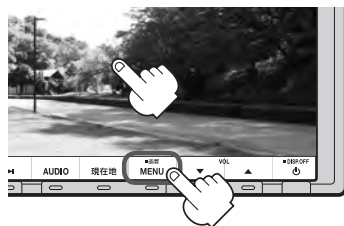
● ボタンをタッチし続けると早戻し／早送りします。[H] H-13

コマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りをする

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に "**▶||**" を表示し、映像を一時停止します。
 (音声も止まります。)



3

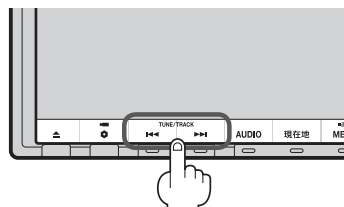
◀◀ / **▶▶** (スキップ) をタッチする。

■ コマ戻しまたはコマ送りをする場合

① **◀◀** または **▶▶** をタッチする。

：タッチすることにより映像を1コマずつ戻す、
 または映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには **▶||** (再生／一時停止) をタッチします。



◀◀ / **▶▶** ボタン
 (スキップ)

映像
DVD

■ スロー戻しまたはスロー送りをする場合

① **◀◀** または **▶▶** をタッチし続ける。

：スロー戻しで戻る、またはスロー送りで
 進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

4

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

タイトルメニュー／DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、タイトルメニューやDVDメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューやDVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。



下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

タイトル または **メニュー** をタッチする。

：タイトルメニューまたはDVDメニューが表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストまたはプレイリストが表示されます。(P-19)

操作ボタン1表示画面



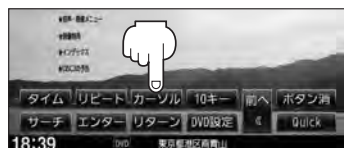
3

次へ をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面



4

▲ ▼ ◀ ▶ (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(メニュー)シーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示画面



5

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバンス

- ディスクによっては、タイトルメニュー／DVDメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニュー／DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリスト／プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「タイトルメニュー」／「DVDメニュー」のことを「メニュー」や「タイトル」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニュー／DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は

前へ や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** をタッチしてください。



② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(タイトルリスト)またはDVDメニュー(プレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



映像
DVD

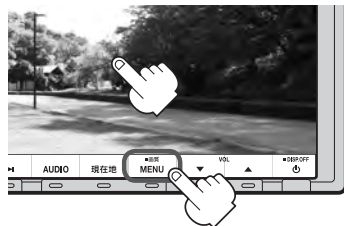
好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

次へ をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

サーチ をタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4

サーチ選択画面で 0 ～ 9 (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- チャプター、タイトル、タイム(経過時間)は切替 をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
↑ (サーチ解除) ← タイムサーチ ←

サーチ選択画面(例)

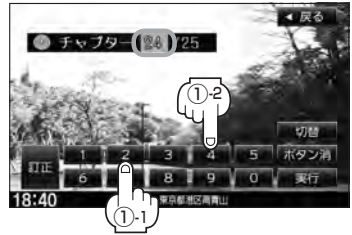


モード表示 0 ～ 9 ボタン(10キー)

例 チャプター番号“24”を入力する場合

- ① 10キーを **2**、**4** とタッチする。

: 表示が“24”となります。

**例** タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

(例)

- ① 手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき **切替** を2回タッチする。

: タイム(経過時間)入力画面になります。

- ② 10キーを **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

: 表示が **__ : __ : __** → **00:15:00** となります。

**5**

実行 をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号24を入力した場合(例)

映像
DVD**6**

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、**切替** をタッチし、もう一度手順 **4** ([P-12]) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、**切替** をタッチし、もう一度手順 **4** ([P-12]) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記に従って言語を選ぶことができます。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

音声 または **字幕** をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



音声言語リスト(例)



字幕言語リスト(例)



3

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(ⓘ P-10)や言語設定(ⓘ P-22)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(ⓘ P-10)または言語設定(ⓘ P-22)で切り替えてください。

時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- T(現在のタイトル)／C(チャプター情報)
- タイトル時間 タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間 タイトルの残時間を表示
- チャプター時間 チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間 チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF 何も表示しない

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

次へ をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



映像
DVD

3

タイム をタッチする。

: タッチすることにより時間表示が
切り替わります。

操作ボタン2表示画面

時間表示
(例)



4

画面の操作ボタンの表示をやめるには、
ボタン消 をタッチする。

3



■ 時間表示をやめる場合

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、“DISPLAY OFF”を選ぶ。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート 再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート 再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

次へ をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

リピート をタッチする。

: タッチすることによりモードが
切り替わります。

操作ボタン2表示画面

リピート
モード表示
(例)



4

画面の操作ボタンの表示をやめるには、
ボタン消 をタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

- 1 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



- 2 **アングル** をタッチする。

：タッチすることによりアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



- 3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、
ボタン消 をタッチする。



アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

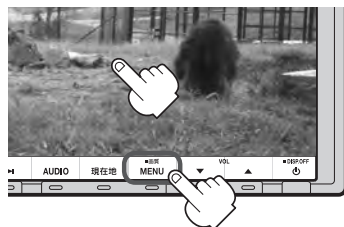
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVD-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

タイトルリストまたはプレイリストを
表示させる。

操作ボタン1表示画面

■ タイトルリストより選択する場合

① **タイトル** をタッチする。

：タイトルリストが表示されます。



■ プレイリストより選択する場合

① **メニュー** をタッチする。

：プレイリストが表示されます。



アドバース

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものを表します。

※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照してください。

3

リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

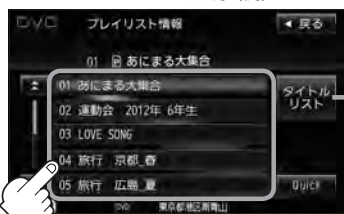
：選択した項目が選択されます。

タイトルリスト表示(例)



タイトルリスト表示のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリストを表示します。

プレイリスト表示(例)



プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。



アドバース

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、手順 **2** (P-18) で **メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声chを切り替えることができます。

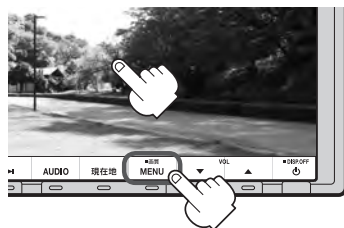
初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1

画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

次へ をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

DVD設定 をタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



アドハイス

■ (停止) をタッチして再生停止中に **DVD設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面

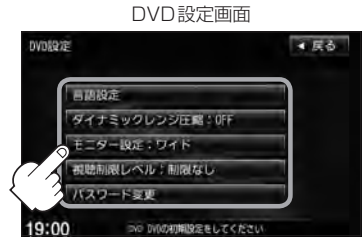


※ **DVD設定** を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

4

画面の設定したい項目(**言語設定** ／
ダイナミックレンジ圧縮 ／ **モニター設定** ／
視聴制限レベル ／ **パスワード変更**)を
 タッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え 	☞ P-22
ダイナミックレンジ圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ) 	☞ P-25
モニター設定	<ul style="list-style-type: none"> ● TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え 	☞ P-25
視聴制限レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● レベル ：視聴制限レベルの設定 	☞ P-26
パスワード変更	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更 	☞ P-27

映像
DVD



アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
この場合はDVDメニュー(☞ P-10)で切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止める場合は **戻る** をタッチしてください。
※停止画面のとき再び再生させる場合は **▶||** (再生) をタッチしてください。(ディスクの先頭から再生します。)



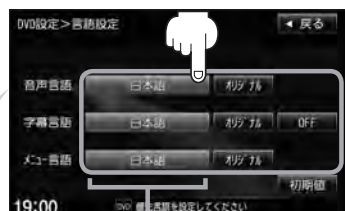
■ 手順 4 (P-21)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更 したい項目をタッチする。

“音声言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語” ……DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

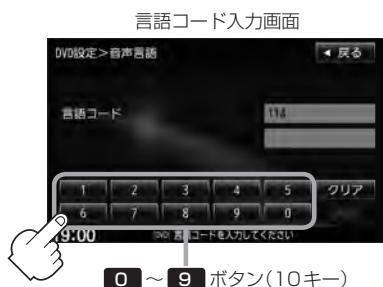


設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード
入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が**オリジナル**または
OFF に設定されている場合は
言語を選択 と表示されます。

□ 言語を変更するには

: 選択した言語の言語コード入力画面が表示
されます。

- ① 言語コード表(P-24)を参照し、
言語コードの数字を **0** ~ **9**
(10キー)をタッチして入力する。



0 ~ **9** ボタン(10キー)

- ② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す場合

言語設定画面で **初期値** をタッチする。



：変更した言語設定が初期値に戻ります。



アドバイス

- DVD 設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバジア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ペラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスマラ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トゥルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA バンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

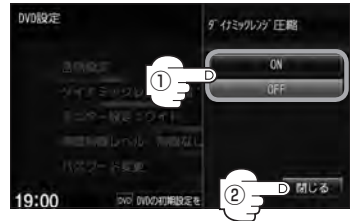
■ 手順 4 (P-21)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しない (ON / OFF)の設定をする。

: ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。
ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くとときに選んでください。



② 閉じる をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。

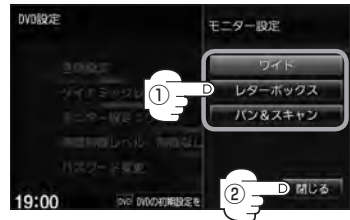
■ 手順 4 (P-21)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

① 設定したいアスペクト比(ワイド / レターボックス / パン&スキャン)をタッチ する。

※ 16:9ワイドスクリーン / 4:3レターボックス /
4:3パン&スキャンとなります。



② 閉じる をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”など)に設定してください。



注意

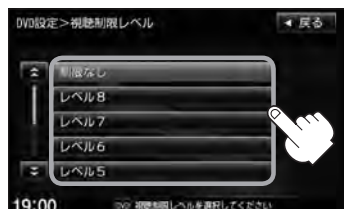
お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 (P-21)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴 制限 レベル	“制限なし” 視聴制限を無効	下にいくほど制限が厳しくなります。
	“8” – 全てのDVDビデオの再生可	
	“7”	
	“6”	
	“5” – 子供向／一般向のみ再生可	
	“4”	
	“3”	
	“2”	
	“1” – 子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)	



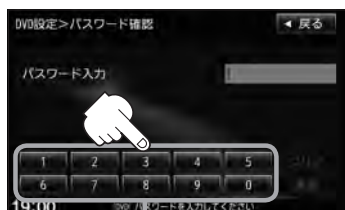
※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、**“制限なし”**を選択してください。

□ レベルを変更すると

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

① 現在のパスワードを **0** ～ **9** (10キー)をタッチして入力する。

② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



0 ～ **9** ボタン(10キー)



アドバース

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
(現在のパスワードは変更することができます。(P-27参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

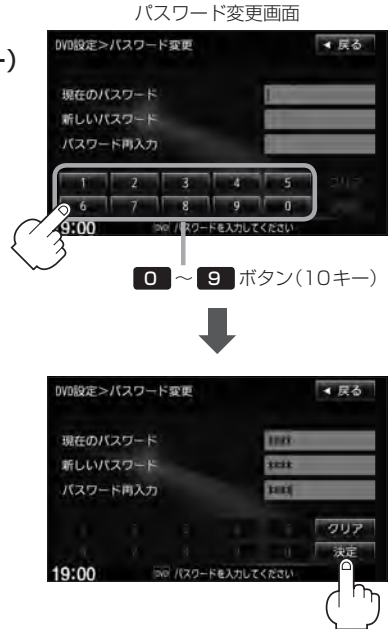
■ 手順 4 (P-21)で“パスワード変更”を選んだ場合

5

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ～ **9** (10キー) をタッチして入力する。

② **決定** をタッチする。

：DVD 設定画面に戻ります。



アドバース

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

